

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
自主的な生涯学習活動支援事業	500	800	△300				500											
トータルコスト	1,299千円（前年度3,220千円）[正職員：0.1人]																	
主な業務内容	補助金申請・実績報告の審査、補助金の支払い																	
工程表の政策目標（指標）	—																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県民自らが企画実施する生涯学習活動の成果を発表するイベント（フェスティバルや展示会等）の開催経費を支援し、発表の機会を創り出そうとする意欲を刺激する。</p>																		
<p>2 事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象団体</td> <td>公民館等を活動拠点としている団体 （文化振興事業の対象となる団体は対象外）</td> </tr> <tr> <td>補助対象事業</td> <td>①ステージ発表、作品展示などを行う小規模フェスティバル ②同じ分野の団体が集まる合同発表会 ※いずれも複数市町村をまたがった、公民館祭等より大きな規模のイベントが対象</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>会場借上代、チラシ印刷などの事務費等</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>200千円×補助率1/2×5団体</td> </tr> </tbody> </table>									区分	事業内容	補助対象団体	公民館等を活動拠点としている団体 （文化振興事業の対象となる団体は対象外）	補助対象事業	①ステージ発表、作品展示などを行う小規模フェスティバル ②同じ分野の団体が集まる合同発表会 ※いずれも複数市町村をまたがった、公民館祭等より大きな規模のイベントが対象	補助対象経費	会場借上代、チラシ印刷などの事務費等	補助金額	200千円×補助率1/2×5団体
区分	事業内容																	
補助対象団体	公民館等を活動拠点としている団体 （文化振興事業の対象となる団体は対象外）																	
補助対象事業	①ステージ発表、作品展示などを行う小規模フェスティバル ②同じ分野の団体が集まる合同発表会 ※いずれも複数市町村をまたがった、公民館祭等より大きな規模のイベントが対象																	
補助対象経費	会場借上代、チラシ印刷などの事務費等																	
補助金額	200千円×補助率1/2×5団体																	
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>平成22年度は3団体が本事業を活用見込み。「今までの活動に比べて規模を拡大し、幅広い交流ができた」との感想が寄せられている。他団体への呼びかけの工夫など、活動の広がりをアドバイスしながら進めているところである。</p>																		

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
とっとり県民カレッジ事業	19,998	10,906	9,092			915	19,083	

トータルコスト 27,986千円（前年度24,622千円）〔正職員：1.0人、非常勤職員：1.0人〕

主な業務内容 主催講座の企画・実施、入学者の募集・管理、連携機関との調整等

工程表の政策目標（指標） とっとりマスター認定者数：10人

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県民を生涯学習へいざなうため、そのきっかけづくりとして、総合的・体系的な学習機会や場の確保を行なう。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	事業費	事業内容
講座開催費	14,607	○主催講座「未来をひらく鳥取学」の開催 ・座学講座 東・中・西部で各300名募集 計10講座 ・専門講座 東・中・西部ごとにテーマ設定し、3講座程度開催 ○放送利用コースとして、テレビ・ビデオ・インターネットを利用して収録した講座等を視聴できるよう、在宅学習を支援。 ○他講座との連携 ・他機関、団体が実施する学習講座を連携講座として認定。
入学者管理費	5,099	○学習奨励 ・単位取得に応じて「奨励賞」、「とっとりマナビスト」、「とっとりマスター」の称号等を授与し、学習意欲の向上を促進。 ○とっとり県民カレッジ「学友会」への支援 ・自主的に学習を深める有志の学友会の活動への支援。
企画運営費	292	○運営委員会の開催 ・とっとり県民カレッジの企画運営について検討する。 委員数8名 年3回開催

3 これまでの取組状況、改善点

【指標】 とっとりマスター認定者数：10人 → 【現在】 6人

○学んだ知識を地域に還元するため、とっとりマスターを10人育成する予定。（現在6名）

○出席率の向上を図ること及び市町村等の講座との重複を避けるため、H21年度から座学講座の回数を短縮して短期集中化し、後半に専門講座を開設した。

○また、未来をひらく鳥取学の講座開催当日業務等について、ビデオ収録事業と併せて3年間の民間委託を実施することとした。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
生涯学習情報提供事業	4,412	8,615	△4,203			15	4,397	
トータルコスト	8,406千円（前年度15,069千円）〔正職員：0.5人、非常勤職員：1.0人〕							
主な業務内容	情報の登録・管理、広報誌の編集・発行等							
工程表の政策目標（指標）	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県民の生涯学習への取組を支援するため、生涯学習に関する情報を、インターネット・広報誌等により発信する。

2 事業内容

（単位：千円）

区 分	事業費	事 業 内 容
生涯学習情報提供システム事業	617	○「とっとり県民学習ネット」による情報提供 ・インターネット「とっとり県民学習ネット」で最新の生涯学習情報（講座情報・人材情報等）を提供。 ・団塊の世代の社会参加を促進することも考慮し、教員OBなどに人材情報への登録を呼びかける。 ・公民館、企業、学校等からの講師紹介依頼も多く、講座の目的等も聞きながら最適な講師をコーディネートし、県民の生涯学習活動を支援。
「生涯学習とっとり」事業	3,795	○広報誌「生涯学習とっとり」の発行 年6回 各4,500部発行 ・インターネットを使えない高齢者に対し、ペーパーによる学習情報を定期的に提供する。 ・公民館や公共機関などに配置し、県民が直接手にとって情報を得る機会を提供する。 ・講座情報だけでなく、生涯学習に関する県の取組なども盛り込み、県民の生涯学習のきっかけとしての効果をねらう。

3 これまでの取組状況、改善点

○情報提供システムへのアクセス件数は毎年多く、利用者が多い。講座登録する団体も行政機関からNPO等、多岐に渡っている。また、人材コーディネートは、依頼者の要望にあった登録者以外の人材も紹介しており、利用者が多い。

○ビデオ収録事業は、未来をひらく鳥取学の講座開催当日業務等と併せて3年間の民間委託を実施することとした。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課 (内線：7519)

1目 社会教育総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
家庭での読書活動支援事業	1,008	1,088	△80				1,008	
トータルコスト	4,203千円 (前年度3,508千円) [正職員：0.4人]							
主な業務内容	関係先との連絡調整、書籍の購入等							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

職場及び通学中において気軽に本に触れられる機会を提供することにより、家庭での読書を習慣づける契機とする。

2 事業内容

(単位：千円)

区 分	事業費	事業内容
企業文庫支援事業	616	家庭での読書を支援するため、家庭教育推進協力企業と連携して企業文庫を整備する。 ○東中西部地区の家庭教育推進協力企業に対して、絵本や児童書、ベストセラー本100冊程度を1セットとして貸出す。 (3地域3企業の9企業でモデル的に実施) ○企業は事業所内に貸出された本を設置し、従業員へ本を貸出す。
本のあるまちづくり支援事業	392	若桜鉄道と連携して、駅舎に図書を整備することで、待合時間や乗車時間を利用して読書ができる環境を整備する。 ○若桜鉄道の若桜駅、丹比駅の駅舎に各300冊程度の絵本や中・高校生向けの図書、駅のイメージに合った図書コーナーを整備する。 ○駅舎の本は、列車内に持ち込み、下車時に返却可能。

3 これまでの取組状況、改善点

○企業文庫支援事業については、現在8企業で実施中である。企業と市町村図書館の間の連絡調整体制が整っており、今後の運営についても協力が期待できる。

○若桜鉄道駅舎への図書の配架については、全国版の生涯学習情報誌でも紹介され、注目を集めている。また、書架を地域の方に管理していただく等、町全体で協力して駅舎文庫を運営していく体制が整いつつある。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課 (内線: 7519)

5目 青少年社会教育施設費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (使用料) 2,123 (諸収入) 1,055	一般財源	
船上山少年自然の家 運営費	33,417	30,916	2,501				30,239	
トータルコスト	47,795千円 (前年度46,245千円) [正職員: 1.8人、非常勤職員: 2.2人]							
主な業務内容	入所者の受入れ、施設の維持管理等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 船上山少年自然の家の運営及び施設の維持管理を行う。								
2 事業内容								
区 分	事 業 内 容							
人 件 費	非常勤職員(技術指導支援員1名、ボイラー技士1名、事務職員1名)等							
管理運営費	警備委託、給食業務委託、清掃・設備保守点検等各種委託料、光熱水費、燃料費、消耗品費、シーツ使用料、修繕費、備品購入費等							
船上山少年自然の家 事業費	(5,722) 3,552	(5,789) 3,635	(△67) △83			(2,686) 516 (諸収入)	(3,036) 3,036	
トータルコスト	21,126千円 (前年度21,385千円) [正職員: 2.2人、非常勤職員: 0.8人]							
主な業務内容	主催事業の企画・実施等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明 ※上段()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額								
1 事業の目的・概要 船上山での自然体験活動を通じ、心豊かな活力ある少年を育成するため、船上山少年自然の家の各種主催事業を実施する。								
2 事業内容								
実施予定時期	事 業 内 容							
4月	さくら祭り(手工芸体験、ゲーム等)							
7月、11月	船上山の夏・秋を楽しむ(ハイキング、登山等)							
5月、9月	ロッククライミング教室							
5月、10月	ファミリーハイキング							
8月	キッズアドベンチャー(キャンプ、登山等)							
9月	ファミリーキャンプ							
10月	秋祭り「生き生き船上山」(手工芸体験、ゲーム等)							
6月、11月、3月	ちっちゃい探検隊(ハイキング、レクリエーション等)							
12月	メリークリスマスin船上山							
1月	船上山ウィンターキャンプ							
2月	ウィンターフェスティバル(スキー、そり等)							
2月	船上山あったかメニュー祭り							
3月	早春の船上山を楽しむ							
船上山少年自然の家専門指導補助員配置事業 主催事業の充実を図り、受入団体の様々な活動を支援するために、事務的作業及び活動補助を担当する臨時的任用職員(専門指導補助員)を配置する。 緊急雇用創出事業を活用 雇用創出人数 2人								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課 (内線: 7519)

5目 青少年社会教育施設費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (使用料) 2,166 (諸収入) 895	一般財源	
大山青年の家運営費	33,393	32,732	661				30,332	
トータルコスト	58,955千円 (前年度58,550千円) [正職員: 3.2人、非常勤職員: 3.0人]							
主な業務内容	入所者の受入れ、施設の維持管理等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 大山青年の家の運営及び施設の維持管理を行う。								
2 事業内容								
区分	事業内容							
人件費	非常勤職員(技術指導支援員1名、ボイラー技士1名、事務職員1名)							
管理運営費	警備委託、給食業務委託、清掃・設備保守点検等各種委託料、光熱水費、燃料費、消耗品費、シーツ使用料、修繕費、備品購入費等							
「大山」自然が友だちときめき“本物”体験事業	(4,980) 2,810	(5,950) 3,796	(△970) △986			(2,759) 589 (諸収入)	(2,221) 2,221	
トータルコスト	9,200千円 (前年度10,250千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	主催事業の企画・実施等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明 ※上段()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額								
1 事業の目的・概要 大山での自然体験活動を通じ、心豊かな活力ある青少年を育成するため、大山青年の家の各種主催事業を実施する。								
2 事業内容								
実施予定時期	事業内容							
5月	春の親子フェスティバル(各種体験活動、ゲーム等)							
5月	大山ファミリー登山							
5月	親子エンジョイカヌー							
6月、8月、10月	はじめての冒険(キャンプ、カヌー等)							
7月	親子ふれあいキャンプ							
7月	生涯学習実践道場(県内実践者の事例発表・交流会)							
8月	大山わくわく探検隊(キャンプ、登山、星座観察等)							
10月	秋祭り(各種体験活動、ゲーム等)							
1月	親子エンジョイスキー							
2月	歩くスキーのつどい(クロスカントリースキー)							
大山青年の家専門指導補助員配置事業 主催事業の充実を図り、受入団体の様々な活動を支援するために、事務的作業及び活動補助を担当する臨時的任用職員(専門指導補助員)を配置する。 緊急雇用創出事業を活用 雇用創出人数 2人								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課 (内線：7519)

5目 青少年社会教育施設費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)青少年社会教育施設改善充実事業	31,405	0	31,405				31,405	
トータルコスト	32,204千円 (前年度0千円) [正職員：0.1人]							
主な業務内容	工事契約の締結、施工管理等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の概要 利用者ニーズに対応し、より多くの利用促進を図るため、緊急性の高いものから必要な改修等を行う。								
2 事業内容 (単位：千円)								
区 分	事業費	事業内容						
船上山少年自然の家	23,060	野外炊飯場トイレの水洗化及び浄化槽の設置 ノルディックウォークコース看板の設置 つどいの広場の芝生化						
大山青年の家	8,345	老朽化した浴室給湯ボイラーの更新						

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課 (内線：7519)

7目 生涯学習センター費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)生涯学習センター改修費	55,970	0	55,970				55,970	
トータルコスト	56,769千円 (前年度0千円) [正職員：0.1人]							
主な業務内容	工事契約の締結、施工管理等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の概要 利用者ニーズに対応し、より多くの利用促進を図るため、緊急性の高いものから必要な改修等を行う。								
2 事業内容 (単位：千円)								
区 分	事業費	事業内容						
生涯学習センター	55,970	外気を建物内に取り込むための空調設備の更新 老朽化したエレベータ2台の更新						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課 (内線: 7519)

7目 生涯学習センター費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
生涯学習センター運営費	62,387	62,257	130				62,387	
トータルコスト	63,186千円 (前年度63,871千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	指定管理者への委託金支払事務、連絡調整、備品の購入、備品貸付変更契約等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 利用者のニーズに対応した管理運営とサービスの向上、民間手法の導入等による管理運営経費の節減を図るため、平成18年度から県立生涯学習センターの管理運営を指定管理者に出している。								
2 事業内容								
区分	事業内容							
管理運営費	○指定管理者に対する施設の管理委託 【委託期間】 平成21年4月1日～平成26年3月31日 【指定団体】 財団法人鳥取県教育文化財団 【期間中の委託料】 311,285千円 (62,257千円×5年間) ○施設備品の更新 寸胴レンジ(ガスレンジ) 1台 130千円							

家庭・地域教育課 (内線: 7519)

(単位: 千円)

プロスポーツ選手との連携による子ども体験活動推進事業	(4,356)	(4,356)	(0)				(4,356)	
事業内容の説明								
※商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業で計上								
プロサッカー球団の選手が学校や社会教育施設などの子どもたちと共に遊ぶイベントを企画・運営し、身体能力の向上、ルールやマナーを身に付けるなど、子どもたちの健全育成を図る。								
・雇用創出人数 1名								

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課 (内線: 7519)

1目 社会教育総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
【廃止】 悩みを抱える青少年の社会参加促進事業	0	2,000	△2,000					
トータルコスト	0千円 (前年度3,614千円) [正職員: 0.0人]							
主な業務内容	-							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
(廃止理由) 悩みを抱える青少年の自立支援活動を行っているNPO等関係団体のネットワークが整い、今後はネットワークの中で連携して取り組んでいけるようになった。								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 闘病記文庫充実事業	983	0	983				983	
トータルコスト	983千円（前年度 0千円）[正職員：0.0人]							
主な業務内容	医学情報と闘病記を一体的に利用できるコーナーの設置							
工程表の施策目標(指標)	仕事やくらしの課題解決支援を通じた個人の自立、地域の自立への支援							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
闘病記文庫は平成18年7月7日に設置され、平成23年で開設5周年を迎える。現在、約1,300冊を所蔵し、介護記の配架も始めたところだが、更に利用者の利便性を図るため、低書架やソファを配置し、医学情報と闘病記を一体的に利用できるコーナーを作る。								
2 事業内容								
（単位：千円）								
区分		予算額		事業内容				
闘病記文庫コーナーの拡充		983		医学情報と闘病記を一体的に利用できるコーナーの設置				

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

3目 図書館費

図書館（電話：0857-26-8155）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
くらしに役立つ図書館推進事業	5,140	5,295	△155				5,140	

トータルコスト 29,903千円（前年度 31,113千円）[正職員：3.1人、非常勤職員：2.0人]

主な業務内容 講座等各種事業実施、商用データベース等の充実、スキルアップのための研修受講

工程表の施策目標(指標) 仕事やくらしの課題解決支援を通じての個人の自立、地域の自立への支援

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

図書館が所蔵する多種多様な資料や機能、専門職としての司書職員の能力を最大限に活用し、地域の情報拠点・知の拠点として、県民の求める情報要求に応え、「個人の自立」、「地域の自立」の一環として県民の仕事や生活に役立つサービスを提供する。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
(新)『働く気持ち応援、情報収集・活用力養成講座』(仮題)の開催	424	企業経営者、就職を目指す人、起業を目指す人たちに、図書館の情報収集機能を紹介し、課題解決のための情報検索技術を習得してもらうことを目指す講座を開催
情報提供機能の強化	1,607	商業分野、農業分野、官報、健康情報、法律・判例情報、医学や看護学等を含む科学技術全般の情報が検索可能な商用データベースを継続導入し、専門雑誌も充実する。
広報活動に関する事業	1,179	図書館のサービスを紹介するDVDの作成や、読書意欲を喚起するパンフレットの作成、県内で開催される各種イベントへの出展等
スキルアップのための専門分野別研修受講	1,930	医療健康・法律・ビジネス情報関連分野、児童サービス関連分野、郷土・歴史・文学関連分野、司書職の資質向上に関する分野の研修を受講

3 これまでの取組状況、改善点

○図書館を実生活に役立つ地域の情報拠点として、個人と地域の自立ひいては地域振興に貢献する施設とするため、ビジネス支援、医療・健康情報サービス、法情報サービス等により、「仕事とくらしに役立つ図書館」の実現に取り組んできた。

○平成23年度は、これまで行ってきた事業の成果を再構成し、「働く気持ち応援、情報収集・活用力養成講座」を開催する。また、ビジネス支援等従来の事業について総括するとともに、県民・地域の新たな課題に対応するため、子育てや地域経済振興を含む地域活性化（ガイナレ鳥取等新たな連携）等に関する情報提供に焦点を当てて関連機関と連携し、協働事業の実現を図る。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考															
				国庫支出金	財産収入	その他 (諸収入)	一般財源																
郷土情報発信事業	5,846	8,376	△2,530		50	12	5,784																
トータルコスト	29,810千円（前年度 32,580千円）〔正職員：3.0人、非常勤職員：1.0人〕																						
主な業務内容	郷土関係各事業の実施、郷土カウンターにおける利用者対応等																						
工程表の施策目標(指標)	貴重な郷土資料の網羅的収集、整理、保存と提供																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>すぐれた郷土資料（地域資料）の収集・保存を進め、その普及・啓発を行う。</p> <p>また、郷土関係文学者の情報を発信するとともに、それらの利用促進を図るため、郷土関係資料のデータベース化を推進する。</p>																							
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふるさとの歴史再発見事業</td> <td>680</td> <td>○郷土文化講演会「伊良子清白の生涯と作品」（仮題） ○郷土出身者顕彰展「昭和の生活綴方教育～稲村謙一資料展～」（仮題） ○市町村立図書館と連携し、郷土関係資料の普及展示（「水木しげる」「まんが王国鳥取」、「橋浦泰雄」など） ○鳥取県に伝わる昔話を聞く会</td> </tr> <tr> <td>郷土文学者情報発信事業</td> <td>3,549</td> <td>○小冊子「郷土出身文学者シリーズ(8)“池田亀艦”」の作成と配布 ○郷土出身文学者の資料調査・収集、研究</td> </tr> <tr> <td>「文字・活字文化の日（10/27）」記念事業</td> <td>301</td> <td>○「文字・活字文化の日」資料展「伊良子清白展」 ○「文字・活字文化の日」記念講演会 平成23年度の出版文化賞受賞者の記念講演会</td> </tr> <tr> <td>地域資料データベース等サービス事業</td> <td>1,316</td> <td>○地元新聞記事検索サービスの提供 ○県内の研究機関等の発行する研究誌のデータベース化</td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	ふるさとの歴史再発見事業	680	○郷土文化講演会「伊良子清白の生涯と作品」（仮題） ○郷土出身者顕彰展「昭和の生活綴方教育～稲村謙一資料展～」（仮題） ○市町村立図書館と連携し、郷土関係資料の普及展示（「水木しげる」「まんが王国鳥取」、「橋浦泰雄」など） ○鳥取県に伝わる昔話を聞く会	郷土文学者情報発信事業	3,549	○小冊子「郷土出身文学者シリーズ(8)“池田亀艦”」の作成と配布 ○郷土出身文学者の資料調査・収集、研究	「文字・活字文化の日（10/27）」記念事業	301	○「文字・活字文化の日」資料展「伊良子清白展」 ○「文字・活字文化の日」記念講演会 平成23年度の出版文化賞受賞者の記念講演会	地域資料データベース等サービス事業	1,316	○地元新聞記事検索サービスの提供 ○県内の研究機関等の発行する研究誌のデータベース化
区分	予算額	事業内容																					
ふるさとの歴史再発見事業	680	○郷土文化講演会「伊良子清白の生涯と作品」（仮題） ○郷土出身者顕彰展「昭和の生活綴方教育～稲村謙一資料展～」（仮題） ○市町村立図書館と連携し、郷土関係資料の普及展示（「水木しげる」「まんが王国鳥取」、「橋浦泰雄」など） ○鳥取県に伝わる昔話を聞く会																					
郷土文学者情報発信事業	3,549	○小冊子「郷土出身文学者シリーズ(8)“池田亀艦”」の作成と配布 ○郷土出身文学者の資料調査・収集、研究																					
「文字・活字文化の日（10/27）」記念事業	301	○「文字・活字文化の日」資料展「伊良子清白展」 ○「文字・活字文化の日」記念講演会 平成23年度の出版文化賞受賞者の記念講演会																					
地域資料データベース等サービス事業	1,316	○地元新聞記事検索サービスの提供 ○県内の研究機関等の発行する研究誌のデータベース化																					

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
子ども読書活動推進事業	561	622	△61				561							
トータルコスト	16,537千円（前年度 16,758千円）[正職員：2.0人]													
主な業務内容	子ども読書活動に関する事業の実施、児童カウンターにおける利用者対応等													
工程表の施策目標(指標)	学校教育との連携による子どもをめぐる課題解決への支援 県内市町村立図書館、学校図書館等の自立発展支援													
事業内容の説明														
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>子どもの読書環境を整え、全ての子どもが読書を通じて豊かな人間性を育むことができるようにするため、本との関わり等について広く県民の理解を深める講座・研修会等を開催する。</p> <p>また、実務者が直面している児童部門の課題解決を目指し、担当者会等を実施し、市町村図書館の子どもの読書活動推進を支援する</p>														
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">区 分</th> <th style="width: 40%;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもの本の講座（年2回）</td> <td style="text-align: right;">546</td> </tr> <tr> <td>市町村図書館児童図書部門実務担当者会 （東・中・西部で各1回）</td> <td style="text-align: right;">15</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	子どもの本の講座（年2回）	546	市町村図書館児童図書部門実務担当者会 （東・中・西部で各1回）	15
区 分	予算額													
子どもの本の講座（年2回）	546													
市町村図書館児童図書部門実務担当者会 （東・中・西部で各1回）	15													

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源																			
環日本海図書館交流事業	12,325	12,553	△228			35	12,290																			
トータルコスト	18,715千円（前年度 18,201千円）〔正職員：0.8人、非常勤職員：2.1人〕																									
主な業務内容	環日本海交流関係各事業の実施、環日本海交流室カウンターにおける利用者対応等																									
工程表の施策目標(指標)	県が進める環日本海交流への文化面からの支援																									
事業内容の説明																										
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>環日本海諸国（韓国・中国・ロシア）の原書やその地域について記述された日本語図書の収集・提供を行なうとともに、「図書交換等に関する協定」を具体化するための様々な事業を行い、鳥取県（県民）と環日本海諸国との交流を促進する。</p> <p>また、多文化サービスの提供・充実に努める。</p>																										
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環日本海諸国との図書交換</td> <td>871</td> <td>韓国、中国、ロシアの3図書館とそれぞれ年60冊程度交換</td> </tr> <tr> <td>環日本海交流室の資料整備</td> <td>3,792</td> <td>図書500冊、雑誌30種、新聞9種購入、資料調査、研修等</td> </tr> <tr> <td>環日本海交流室担当職員の配置</td> <td>6,863</td> <td>担当職員2名配置</td> </tr> <tr> <td>環日本海交流室連続講座等の開催</td> <td>679</td> <td>連続講座を県内2箇所各3回</td> </tr> <tr> <td>環日本海交流実施校への語学・歴史・文化等学習支援</td> <td>120</td> <td>翻訳絵本の読み聞かせ等</td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	環日本海諸国との図書交換	871	韓国、中国、ロシアの3図書館とそれぞれ年60冊程度交換	環日本海交流室の資料整備	3,792	図書500冊、雑誌30種、新聞9種購入、資料調査、研修等	環日本海交流室担当職員の配置	6,863	担当職員2名配置	環日本海交流室連続講座等の開催	679	連続講座を県内2箇所各3回	環日本海交流実施校への語学・歴史・文化等学習支援	120	翻訳絵本の読み聞かせ等
区分	予算額	事業内容																								
環日本海諸国との図書交換	871	韓国、中国、ロシアの3図書館とそれぞれ年60冊程度交換																								
環日本海交流室の資料整備	3,792	図書500冊、雑誌30種、新聞9種購入、資料調査、研修等																								
環日本海交流室担当職員の配置	6,863	担当職員2名配置																								
環日本海交流室連続講座等の開催	679	連続講座を県内2箇所各3回																								
環日本海交流実施校への語学・歴史・文化等学習支援	120	翻訳絵本の読み聞かせ等																								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
市町村・学校図書館協力支援事業	6,101	6,690	△589				6,101	
トータルコスト	24,473千円（前年度 26,053千円）〔正職員：2.3人、非常勤職員：1.9人〕							
主な業務内容	市町村・学校図書館支援各種事業実施							
工程表の施策目標(指標)	県内市町村立図書館、学校図書館等の自立発展支援 県庁内図書室、議会図書室支援による行政サービス向上への貢献							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
市町村図書館、高等学校・特別支援学校、大学図書館、県立厚生病院、類縁機関等に対し、資料提供や研修機会の提供を行い、県全体の図書館サービスの高度化を図るとともに、関係機関のネットワーク維持の要としての役割を果たす。								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	予算額	事業内容						
県立図書館資料等の配送・回収事業	5,009	○市町村・高等学校、特別支援学校、大学図書館等への協力図書・展示物などの配送等 ○遠隔地の個人・高等学校・特別支援学校・大学等から要望のあった図書の宅配による貸出						
図書館職員研修事業	878	○図書館業務専門講座(年4回) ○高等学校図書館司書研修会(年2回) ○図書館職員実務研修会(年2回)						
訪問相談事業	148	市町村、高等学校、特別支援学校、県立厚生病院、県類縁機関へ必要に応じて随時訪問						
県民の図書館利用研修会	66	○市町村、高等学校、特別支援学校等における「図書館活用セミナー」の実施						
地域の図書館情報発信事業	—	○地域図書館の展示を県立図書館で開催 ○県立図書館の企画展示を地域図書館・学校図書館で開催						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
図書館運営費	293,402	224,189	69,213			(基金繰入金) 5,000 (諸収入) 564	287,838	
トータルコスト	403,636千円（前年度 336,334千円）【正職員：13.8人、非常勤職員：10.0人】							
主な業務内容	図書館運営全般に係る業務							
工程表の施策目標(指標)	県立図書館に係る全ての政策目標							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県立図書館の管理運営、資料整備を行う。								
2 事業内容 (単位：千円)								
区分	予算額	事業内容						
図書館管理運営費	118,028	図書館協議会開催(年2回) 施設設備の維持管理 図書館業務の管理運営 図書館システムの管理運営等						
施設・設備の改修	69,985	経年劣化に伴う設備改修 ・直流電源装置更新 ・地下書庫空調設備更新 ・ハロン消火設備更新						
資料購入整理費	105,389	図書館資料整備 逐次刊行物資料整備 資料整理用経費等						
○債務負担行為								
・利用者用インターネット端末賃貸借（契約期間 H23～H28）								
要求総額 2,130千円（H23～H28）【債務負担行為要求総額 1,846千円（H24～H28）】								
・映像録音資料視聴機器賃貸借（契約期間 H23～H24）								
要求総額 252千円（H23～H24）【債務負担行為要求総額 84千円（H24）】								
3 これまでの取組状況、改善点								
資料は全ての図書館サービスの基礎であり、年々多様化、高度化する利用者の要求に応えるためには常に新鮮で多様な資料を揃えておく必要がある。名実ともに地域の情報中枢としてあらゆる県民の期待に応えられるよう、今後も資料の充実に努める。								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

図書館(電話:0857-26-8155)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
暮らしや地域活性化に役立つ図書館サービス普及強化事業	(5,378)	(5,338)	(40)			(5,378)		
事業内容の説明				※商工労働部の緊急雇用創出事業で一括計上				
<p>県民生活に役立つ情報提供機能の強化に取り組んでいる県立図書館の利用促進を図るため、図書館利用の普及啓発活動を行う。</p> <p>・雇用創出人数 4人</p>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

人権教育課（内線：7516）

7目 育英奨学事業費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
奨学資金債権回収強化事業	17,035	15,564	1,471			25	17,010	
トータルコスト	25,023千円（前年度19,598千円）〔正職員：1.0人、非常勤職員：2.0人〕							
主な業務内容	奨学資金返還金徴収業務（電話督促・戸別訪問）、法的措置、サービサー委託							
工程表の施策目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> 奨学資金返還未収金の徴収強化（奨学資金収納額：4.1億円） 業務の効率化に向けた検討 							

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取県教育委員会が所管する奨学金の返還未収金について、徴収を強化する取組を行う。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
納付勧奨専門員の配置（非常勤職員2名）	5,710	増え続ける奨学資金返還未納額の拡大を効果的に防ぐため、納付勧奨を専門とする非常勤職員（納付勧奨専門員）を配置し、債権回収業務の強化を図る。
債権回収会社（サービサー）への困難案件委託	11,325	法的措置を行い法律上強制執行できる状態にあるにも関わらず、資力調査が困難かつ専門的であるが故に回収できない債権及び県外在住未納者について、債権回収を専門にする業者に委託する。 （成功報酬は回収実金額の30%）

3 これまでの取組状況、改善点

【指標】平成22年度奨学資金収納額：3.9億円 → 【現状】3.4億円（平成22年12月末現在）

○奨学金の未納状況（平成22年12月末現在）

奨学金名	未納金額	備考
進学奨励資金	2億8,229万円	(S62年度制度創設 H13年度新規採用終了) H17年度貸与業務終了
育英奨学資金（大学）	2,469万円	(S36年度制度創設) 継続中
育英奨学資金（高校）	3,631万円	(H14年度制度創設) 継続中
合計	3億4,329万円	

○育英奨学資金（高校）の返還者が急増していく中で返還未納者も急増しているため、納付勧奨専門員による継続的な納付勧奨（電話督促等）を短期未納者に対しても行った。

○資力があるにもかかわらず自主的な返還をしない未納者に対しては、法的措置を念頭におき厳正に返還を求めた。

○債権回収会社（サービサー）の回収状況

委託債権	回収状況（平成22年12月末現在）			
	区分・人数	回収済額	未回収額	
91名分 29,992千円	完済	16名	3,151千円	—
	一部返還（継続中）	18名	643千円	4,067千円
	未返還（交渉中）	57名	—	22,131千円
	計	91名	3,794千円	26,198千円

【改善点】

○債権回収会社（サービサー）への債権回収業務の委託：

平成22年度 91件 → 平成23年度 150件

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

人権教育課 (内線: 7516)

5目 教育振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考									
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源										
学校人権教育振興事業	2,327	2,805	△478				2,327										
トータルコスト	20,699千円 (前年度31,043千円) [正職員: 2.3人]																
主な業務内容	指導主事による学校訪問指導、研修会・協議会の開催、人権教育指導方法研修会																
工程表の施策目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習の授業をとおして自他の人権を大切にしようとする気持ちが強まった児童生徒の増加 ・指導主事による計画訪問及び巡回指導 																
事業内容の説明																	
<p>1 事業の概要</p> <p>学校教育における人権教育の推進・充実のため、研修会の開催や学校への指導・助言を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校における人権教育の推進の手法や課題についての助言指導 ・人権教育主任を対象とした研修会・協議会等の開催 ・管理職を対象とした指導方法等研修会の開催 																	
人権教育実践事業	3,657	970	2,687	2,710			947										
トータルコスト	9,249千円 (前年度9,845千円) [正職員: 0.7人]																
主な業務内容	研究授業に係る学校訪問、実践研究、開発事業委託																
工程表の施策目標(指標)	人権学習の授業をとおして自他の人権を大切にしようとする気持ちが強まった児童生徒の増加																
事業内容の説明																	
<p>1 事業の概要</p> <p>学校や地域が抱えている人権教育推進上の課題解決のための指導方法等の在り方を研究する。その成果を全県に普及し、自他の人権を大切にしようとする児童生徒の育成を図る。</p> <p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額</th> <th>事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人権教育実践協力校(団体)</td> <td>947</td> <td>5つの実践協力校(団体)を指定し、「体験」を中核に置いた人権学習の指導方法の開発を目的とした研究を行う</td> </tr> <tr> <td>人権教育開発事業(国委託事業)</td> <td>2,710</td> <td>基本的人権の尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にされた教育を推進するため、学校教育における人権教育の開発を進める</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	事 業 内 容	人権教育実践協力校(団体)	947	5つの実践協力校(団体)を指定し、「体験」を中核に置いた人権学習の指導方法の開発を目的とした研究を行う	人権教育開発事業(国委託事業)	2,710	基本的人権の尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にされた教育を推進するため、学校教育における人権教育の開発を進める
区 分	予算額	事 業 内 容															
人権教育実践協力校(団体)	947	5つの実践協力校(団体)を指定し、「体験」を中核に置いた人権学習の指導方法の開発を目的とした研究を行う															
人権教育開発事業(国委託事業)	2,710	基本的人権の尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にされた教育を推進するため、学校教育における人権教育の開発を進める															

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

人権教育課 (内線: 7516)

5目 教育振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
県立学校人権教育推進支援事業	3,104	3,031	73				3,104	
トータルコスト	16,684千円 (前年度24,815千円) [正職員: 1.7人]							
主な業務内容	県立学校における教職員・生徒の人権教育推進活動							
工程表の施策目標(指標)	人権学習の授業をとおして自他の人権を大切にしようとする気持ちが強まった児童生徒の増加							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要 県立学校における人権教育の推進を図るため、自主的な取り組みに対する支援を行う。</p> <p>2 事業内容 県立学校がそれぞれ認識している自校の人権教育推進上の課題等に基づいて、工夫しながら自主的に立案・実施する人権教育推進活動に対する支援を行う。</p>								
【廃止】 人権教育課管理運営事業	0	48	△48					
トータルコスト	0千円 (前年度11,343千円) [正職員: 0.0人]							
主な業務内容	-							
工程表の施策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
<p>(廃止理由) 学校人権教育振興事業に移管</p>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

人権教育課 (内線: 7516)

1目 社会教育総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
人権尊重のまちづくり推進支援事業	1,370	1,795	△425				1,370	
トータルコスト	10,956千円 (前年度19,545千円) [正職員: 1.2人]							
主な業務内容	市町村を訪問しての研究協議会の実施、市町村担当者会の開催							
工程表の施策目標(指標)	人権学習会(小地域懇談会)実施市町村数の増加							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>地域社会における人権尊重のまちづくりを住民一人ひとりが主体者として進められるよう、市町村が行う人権教育施策、住民学習の充実に対する支援を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 人権教育アドバイザー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育アドバイザー会議(年2回) ・市町村を訪問しての人権教育合同研究協議会 <p>(2) 市町村人権教育行政担当者会</p>								
社会人権教育振興事業	4,697	4,713	△16				4,697	
トータルコスト	5,496千円 (前年度5,520千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務、団体間の連絡調整							
工程表の施策目標(指標)	関係団体への支援							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>社会人権教育活動の充実を図るため、関係団体へ支援を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>県内の社会人権教育活動を推進するため、研究集会の開催や各市町村単位で組織された人権教育推進協議会の活動を支援する団体に対して運営費を助成する。</p>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

人権教育課 (内線: 7516)

7目 育英奨学事業費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																	
進学奨励事業	89,752	77,124	12,628			(諸収入) 84,530	5,222																	
トータルコスト	97,740千円 (前年度84,385千円) [正職員: 1.0人、非常勤職員: 0.7人]																							
主な業務内容	進学奨励資金返還金収納業務 (調定・督促・猶予・免除)																							
工程表の施策目標(指標)	奨学資金返還未収金の徴収強化 (奨学資金収納額: 4.1億円)																							
事業内容の説明																								
<p>1 事業の概要 地域改善対策特別措置法に基づいて行った鳥取県進学奨励資金の返還金収納業務を行う。</p> <p>2 事業内容 平成13年度をもって廃止した鳥取県進学奨励資金に係る次の業務 ・国庫償還金 (収入した返還金の3分の2に相当する金額を国へ償還) ・納付書、督促状の発行などの返還金収納業務及び債権管理業務</p>																								
県育英会助成事業	30,989	21,789	9,200				30,989																	
トータルコスト	34,983千円 (前年度25,823千円) [正職員: 0.5人]																							
主な業務内容	補助金交付事務、寮の運営指導業務																							
工程表の施策目標(指標)	大学生等への生活支援																							
事業内容の説明																								
<p>1 事業の概要 東京で学生寮を設置運営する、財団法人鳥取県育英会に対する支援を行う。</p> <p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>補助金額</th> <th>内容</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費補助</td> <td>16,242</td> <td>寮長及び学生寮指導員に係る人件費に対する補助</td> <td>10/10</td> </tr> <tr> <td>給食委託料補助</td> <td>5,748</td> <td>給食業務委託料に対する補助</td> <td>1/2</td> </tr> <tr> <td>(臨)明倫館給湯設備改修工事</td> <td>8,999</td> <td>老朽化した給湯ボイラーに替え、ガス給湯設備を設置する工事に対する補助</td> <td>10/10</td> </tr> </tbody> </table>									区分	補助金額	内容	補助率	人件費補助	16,242	寮長及び学生寮指導員に係る人件費に対する補助	10/10	給食委託料補助	5,748	給食業務委託料に対する補助	1/2	(臨)明倫館給湯設備改修工事	8,999	老朽化した給湯ボイラーに替え、ガス給湯設備を設置する工事に対する補助	10/10
区分	補助金額	内容	補助率																					
人件費補助	16,242	寮長及び学生寮指導員に係る人件費に対する補助	10/10																					
給食委託料補助	5,748	給食業務委託料に対する補助	1/2																					
(臨)明倫館給湯設備改修工事	8,999	老朽化した給湯ボイラーに替え、ガス給湯設備を設置する工事に対する補助	10/10																					

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

7目 育英奨学事業費

人権教育課 (内線: 7516)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
育英奨学事業	573,406	548,021	25,385			(財産収入) 780 (基金繰入金) 2,743 (諸収入) 68	569,815	
トータルコスト	583,790千円 (前年度555,282千円) [正職員: 1.3人、非常勤職員: 0.6人]							
主な業務内容	進学資金助成金交付事務、定時制課程・通信制課程修学奨励金貸与事務、育英奨学資金(高校・大学)の貸与・返還事務							
工程表の施策目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学資金の支援 ・ 奨学資金返還未収金の徴収強化(奨学資金収納額: 4.1億円) 							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
県内に住所を有する者の子等で、大学・高等学校等に進学する者のうち、経済的理由により修学が困難である者に対する大学等進学資金助成金の支給等を行う。								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	事業内容						
大学等進学資金助成金	3,540	大学、専門学校等への進学に際して、金融機関から進学資金を借り入れた者に対して利子の一部を助成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・専修(専門)借入上限 50万円、上限利率2.0% ・ 各種学校等 借入上限120万円、上限利率2.0% ・ 県内予備校 借入上限 50万円、上限利率2.0% 						
高等学校定時制課程・通信制課程修学奨励金	1,008	高等学校定時制課程・通信制課程に在学する勤労学生の修学を奨励するため、奨学資金を貸与する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸与月額14,000円(無利子) 						
鳥取県育英奨学資金貸与・返還事務	5,870	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育英奨学生選考委員会の開催 ・ 貸与(内定)決定、貸付け ・ 納付書送付、債権管理 ・ 返還金収納、戸別訪問、督促電話 						
鳥取県授業料減免・奨学金基金積立金	780	国の平成21年度第1次補正の高等学校授業料減免等支援臨時交付金により造成した「鳥取県授業料減免・奨学金基金」の運用益を当該基金に積立てる経費。						
育英奨学事業特別会計繰出金	562,208	育英奨学事業特別会計への繰出金						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7523)

2目 文化財保護費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)とっとりの文化遺産魅力発掘事業	1,586	0	1,586				1,586	
トータルコスト	3,982千円 (前年度0千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	プロジェクト会議・検討会の運営、各種イベント等の企画・運営							
工程表の施策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の概要

妻木晩田遺跡、上淀廃寺、三徳山から近代化遺産(若桜鉄道・五臓圓ビルなど)まで、県内の優れた文化遺産を観光資源としても活用できるようにその魅力の発信を行う。

また、現在はまだ文化財としては評価されていないが、琴浦町の「鍔絵(こてえ)」や、日野郡の「たたら」など地域特有の資源に光を当て、観光資源ともなる文化遺産の掘り起こしを行う。

2 事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	事業内容
文化遺産の魅力発掘プロジェクト会議	474	文化遺産の積極的な活用推進のため、市町村・NPO法人やボランティアガイドなどによる会議を観光部局と連携して立ち上げ、文化遺産を観光資源として活用し、地域活性化に向けた取組みを進めるためのマスタープランを検討する。
文化遺産の観光資源としての活用	89	<ul style="list-style-type: none"> ・「とっとりレトロ」といったテーマを設けて倉吉玉川・智頭板井原などの歴史的な町並みや若桜鉄道・五臓圓ビルなどの近代化遺産をホームページなどで重点的にPR ・妻木晩田遺跡周辺や歴史の道(古道)ウォークに加えて、法勝寺電車廃線などをたどるコースの設定を検討し、歴史遺産ウォークを展開 ・各施設相互研修によるその他ボランティアガイドの養成等
観光資源となる文化遺産の掘り起こし	1,023	琴浦町などに伝承されている「鍔絵」や日野郡を中心に県内に多く見られる「たたら」の検証、山陰最古の駅舎「御来屋駅」など鉄道遺産の検討

3 これまでの取組状況、改善点

これまで有形無形の文化財について、着実に国・県指定、国登録を行ってきている。

これらの、文化遺産としての価値を評価するとともに、観光資源として有効に活用し、観光誘客にもつなげる取組みを推進する。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課(内線:7523)

2目 文化財保護費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)文化遺産を活用した子どもの知的 好奇心アップ事業	1,722	0	1,722				1,722	
トータルコスト	5,716千円(前年度0千円)[正職員:0.5人]							
主な業務内容	情報提供方法の企画立案等、教育機関との連絡調整							
工程表の施策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
子どもが、郷土に残る文化遺産やその情報に触れる機会を増やし、知的好奇心を喚起する。								
2 事業内容 (単位:千円)								
区分	予算額	事業内容						
学校教育への活用	-	文化遺産関連情報の副読本への掲載と出前授業の実施						
学習ノートの作成	1,722	遺跡を訪れた子どもたちが、不思議に感じたことやおもしろいことを見つける手立てのひとつとして活用する「学習ノート」を作成する。 [形式]学習の都度綴じるカードファイル方式とする [内容(例)]発掘体験～遺跡発掘テクニック～ 古代体験～火おこし道具と火おこしのいろいろ～ ～上手な勾玉づくりのひみつ～						
3 これまでの取組状況、改善点								
遺跡等では、パンフレット等でその概要を説明しているが、さらに自分で学習できるようにすることで、文化遺産により親しみやすくする。								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課（内線：7524）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
文化振興費	1,001	1,056	△55				1,001													
トータルコスト	4,995千円（前年度5,090千円）〔正職員：0.5人、非常勤職員：0.5人〕																			
主な業務内容	各種調査取りまとめ、関係機関との連絡調整、契約事務等																			
工程表の政策目標	—																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の概要</p> <p>県民が文化活動に親しみ実践する取組みの調査や支援、表彰候補者の取りまとめ等を行い、県内の文化活動の助長と振興を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種調査・照会等取りまとめ ・各種文化関係事業への共催及び後援等承認 ・文化関係の各種表彰候補者等の取りまとめ ・博物館法に基づく博物館登録 ・公益法人の指導監督 ・旧鳥取少年自然の家跡地除草委託 <p>3 事業費 （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 70%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査研究等</td> <td style="text-align: right;">801</td> <td>文化事業推進の調査研究や共催及び後援等にかかる経費</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">200</td> <td>旧鳥取少年自然の家跡地除草委託</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">1,001</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	内 容	調査研究等	801	文化事業推進の調査研究や共催及び後援等にかかる経費	その他	200	旧鳥取少年自然の家跡地除草委託	計	1,001	
区分	予算額	内 容																		
調査研究等	801	文化事業推進の調査研究や共催及び後援等にかかる経費																		
その他	200	旧鳥取少年自然の家跡地除草委託																		
計	1,001																			

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7937)

2目 文化財保護費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源													
情報発信「鳥取県の文化財」	8,861	9,035	△174			504	8,357													
トータルコスト	23,239千円 (前年度23,557千円) [正職員: 1.8人]																			
主な業務内容	事業の企画・実施、契約、資料作成・編集、関係機関との連絡調整																			
工程表の施策目標(指標)	優れた文化財の新規国・県指定、国登録 10件 (うち県指定3件)																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の概要</p> <p>県民に文化財に関する情報を積極的に発信することにより、鳥取県の歴史や文化について認識を深めてもらうとともに、文化財に親しみをもち、その重要性を認識してもらい、文化財を大切にする気運を高めることを目的とする。</p>																				
<p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化財巡り</td> <td>6,562</td> <td> 遺跡巡りバスツアーの開催 ・山陰史跡巡り (鳥根県との連携事業) ・近代建造物巡り (H21~H23) 文化財紹介リーフレットの刊行 ・地域学習にも活用できる、身近な文化財を散策するためのリーフレットを作成する。 史跡ガイドブックの刊行 ・鳥根県との連携事業で山陰両県の史跡探訪用ガイドブックとして作成した冊子の増刷。 国・県指定文化財の解説板を設置 史跡整備ネットワーク会議の開催 ・鳥根県との連携事業。史跡の有効活用を検討するための意見交換を行う。 (臨)「全国歴史の道会議」鳥取大会の開催 (智頭町) ・「歴史の道」について講演会・現地視察等を実施。全国の関係者ほか一般にも公開。 情報サイト「文化財NAVI」の再構築 ・県内の国・県指定等文化財の情報サイト「文化財NAVI」のシステムを再構築し、内容の充実と更新の円滑化を図る。 </td> </tr> <tr> <td>展示会・見学会・講演会</td> <td>2,299</td> <td> 新規指定文化財の展示会・見学会の開催 建造物パネル展・調査報告会の開催 ・近代建造物や登録文化財制度を写真・解説パネルで紹介し、これまでの調査成果を分かりやすく解説。 文化財主事による出前講演の実施 ・学術講演会や市民セミナーなど生涯学習の場で出前講演する。 </td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,861</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	文化財巡り	6,562	遺跡巡りバスツアーの開催 ・山陰史跡巡り (鳥根県との連携事業) ・近代建造物巡り (H21~H23) 文化財紹介リーフレットの刊行 ・地域学習にも活用できる、身近な文化財を散策するためのリーフレットを作成する。 史跡ガイドブックの刊行 ・鳥根県との連携事業で山陰両県の史跡探訪用ガイドブックとして作成した冊子の増刷。 国・県指定文化財の解説板を設置 史跡整備ネットワーク会議の開催 ・鳥根県との連携事業。史跡の有効活用を検討するための意見交換を行う。 (臨)「全国歴史の道会議」鳥取大会の開催 (智頭町) ・「歴史の道」について講演会・現地視察等を実施。全国の関係者ほか一般にも公開。 情報サイト「文化財NAVI」の再構築 ・県内の国・県指定等文化財の情報サイト「文化財NAVI」のシステムを再構築し、内容の充実と更新の円滑化を図る。	展示会・見学会・講演会	2,299	新規指定文化財の展示会・見学会の開催 建造物パネル展・調査報告会の開催 ・近代建造物や登録文化財制度を写真・解説パネルで紹介し、これまでの調査成果を分かりやすく解説。 文化財主事による出前講演の実施 ・学術講演会や市民セミナーなど生涯学習の場で出前講演する。	計	8,861	
区分	予算額	事業内容																		
文化財巡り	6,562	遺跡巡りバスツアーの開催 ・山陰史跡巡り (鳥根県との連携事業) ・近代建造物巡り (H21~H23) 文化財紹介リーフレットの刊行 ・地域学習にも活用できる、身近な文化財を散策するためのリーフレットを作成する。 史跡ガイドブックの刊行 ・鳥根県との連携事業で山陰両県の史跡探訪用ガイドブックとして作成した冊子の増刷。 国・県指定文化財の解説板を設置 史跡整備ネットワーク会議の開催 ・鳥根県との連携事業。史跡の有効活用を検討するための意見交換を行う。 (臨)「全国歴史の道会議」鳥取大会の開催 (智頭町) ・「歴史の道」について講演会・現地視察等を実施。全国の関係者ほか一般にも公開。 情報サイト「文化財NAVI」の再構築 ・県内の国・県指定等文化財の情報サイト「文化財NAVI」のシステムを再構築し、内容の充実と更新の円滑化を図る。																		
展示会・見学会・講演会	2,299	新規指定文化財の展示会・見学会の開催 建造物パネル展・調査報告会の開催 ・近代建造物や登録文化財制度を写真・解説パネルで紹介し、これまでの調査成果を分かりやすく解説。 文化財主事による出前講演の実施 ・学術講演会や市民セミナーなど生涯学習の場で出前講演する。																		
計	8,861																			

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

2目 文化財保護費

文化財課：(内線：7937)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
調査研究「鳥取県の文化財」	13,886	14,104	△218				13,886	

トータルコスト 26,667千円 (前年度27,013千円) [正職員：1.6人]

主な業務内容 契約、資料作成、調査・検討、関係機関との連絡調整

工程表の施策目標(指標) 優れた文化財の新規国・県指定、国登録 10件 (うち県指定3件)

事業内容の説明

1 事業の概要

国、県指定、登録の候補になりうる文化財の調査研究を実施して、指定に必要な学術的な評価を行い、指定に向けて積極的に取り組む。

2 事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	事業内容
建造物の調査等	8,119	○文化財建造物の詳細調査 指定に向けて建造物を学術的に評価するための調査を実施する。 ○文化財建造物の登録支援 県文化財主事による現地指導、登録文化財制度についての説明。
民俗文化財の調査等	3,939	○県指定に向けて、弓浜半島のトンドウについて調査を実施 ○指定有形民俗文化財の画像記録作成に向けての調査 劣化のモニタリングや将来の復元で活用可能な画像記録となるものが対象。
美術工芸品の調査等	170	指定文化財である美術工芸品の適切な記録写真を撮影し、毀損等の際の修理、管理台帳の整備、広報で活用。
中世城館の詳細調査	796	指定に向けて中世城館を学術的に評価するための調査を実施する。
庭園の詳細調査	195	指定に向けて庭園を学術的に評価するための調査を実施する。
天然記念物の詳細調査	284	指定に向けて天然記念物を学術的に評価するための調査を実施する。
専門調査員による調査・研究体制の整備など	383	県文化財保護審議会委員以外からも指導を受けられる専門調査員の体制を充実させる。
計	13,886	

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課(内線:7932)

2目 文化財保護費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
鳥取県文化財防災・防犯対策事業	311	258	53				311																			
トータルコスト	1,110千円(前年度1,872千円)[正職員:0.1人]																									
主な業務内容	文化財所在地で地域住民に対する出前講座、県警本部・消防署との協議、文化財所有者あて管理状況の調査票の送付、マニュアルの策定他																									
工程表の施策目標(指標)	-																									
事業内容の説明																										
<p>1 事業の概要</p> <p>鳥取県内にある国・県指定文化財が滅失しないよう、防災・防犯対策を行う。</p> <p>平成23年度は特に、所有者・地域住民への意識啓発を重点的に行うことで、持続可能な防災・防犯対策の体制づくりの構築を目指す。</p> <p>また、各文化財の現況調査、消防・警察との連携を併せて実施する。</p>																										
<p>2 事業内容 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業費</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内の指定文化財の状況調査、把握</td> <td>25</td> <td>○国、県指定文化財の保管状態の現況調査 ○情報を分析し、危険度を把握</td> </tr> <tr> <td>警察・消防機関との連携</td> <td>17</td> <td>○県警、消防との現況調査の情報共有 ○三者会議を開催</td> </tr> <tr> <td>所有者・地域住民への防災・防犯意識啓発</td> <td>255</td> <td>○文化財所有者への講習会を実施 ○防災、防犯に関するマニュアルの作成 ○状況調査の結果を所有者へ通知</td> </tr> <tr> <td>文化財防災・防犯設備の整備促進</td> <td>14</td> <td>○防災、防犯設備の整備を打診 ○設備の整備にあたり障害となることをアンケート調査等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>311</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	事業費	事業内容	県内の指定文化財の状況調査、把握	25	○国、県指定文化財の保管状態の現況調査 ○情報を分析し、危険度を把握	警察・消防機関との連携	17	○県警、消防との現況調査の情報共有 ○三者会議を開催	所有者・地域住民への防災・防犯意識啓発	255	○文化財所有者への講習会を実施 ○防災、防犯に関するマニュアルの作成 ○状況調査の結果を所有者へ通知	文化財防災・防犯設備の整備促進	14	○防災、防犯設備の整備を打診 ○設備の整備にあたり障害となることをアンケート調査等	合計	311	
区分	事業費	事業内容																								
県内の指定文化財の状況調査、把握	25	○国、県指定文化財の保管状態の現況調査 ○情報を分析し、危険度を把握																								
警察・消防機関との連携	17	○県警、消防との現況調査の情報共有 ○三者会議を開催																								
所有者・地域住民への防災・防犯意識啓発	255	○文化財所有者への講習会を実施 ○防災、防犯に関するマニュアルの作成 ○状況調査の結果を所有者へ通知																								
文化財防災・防犯設備の整備促進	14	○防災、防犯設備の整備を打診 ○設備の整備にあたり障害となることをアンケート調査等																								
合計	311																									

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課（内線：7932）

2目 文化財保護費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
情報発信「とっとり 弥生の王国」	27,264	27,145	119	685		18	26,561	
トータルコスト	59,216千円（前年度59,417千円）[正職員：4.0人、非常勤職員2.0人]							
主な業務内容	イベント・体験講座等企画・実施、補助金交付等							
工程表の施策目標(指標)	イベントの実施、遺跡の普及啓発・利用促進							
業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>鳥取県内に存する妻木晩田遺跡、青谷上寺地遺跡といった、全国でも有数の弥生時代遺跡の魅力も多くの方に知っていただくため、イベント・遺跡を活用した体験事業などを開催する。</p>								
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p>								
区分	予算額	事業内容						
弥生の王国情報発信 (遺跡全般)	3,404	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県の弥生時代遺跡をメインテーマとした県外シンポジウムを開催（予定：福岡県） 弥生時代をイメージさせるお菓子のレシピ、アイディアの募集（テーマ：古代米） 						
妻木晩田遺跡活用事業	17,077	<ul style="list-style-type: none"> 遺跡集客イベント開催（新緑、秋麗まつり） 宿泊体験等、土器づくり等弥生時代の暮らし体験講座 親子写生会、サンセットビューウィーク等での遺跡活用 40万人来場記念イベントの開催 						
青谷上寺地遺跡活用事業	6,783	<ul style="list-style-type: none"> 展示館記念セレモニーの開催（開館10周年、来場者15万人） 青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会による住民、関係機関の協働連携 青谷上寺地遺跡展示館（鳥取市）への補助金交付 						
合計	27,264							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課：(内線：7937)

2目 文化財保護費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化財保護指導費	(23,439) 21,645	(25,282) 25,282	(△1,843) △3,637	(1,000) 1,000		(1,794)	(20,645) 20,645	

トータルコスト 30,432千円 (前年度34,157千円) [正職員：1.1人]

主な業務内容 申請・報告の審査、市町村等の指導、関係機関との連絡調整

工程表の施策目標(指標) 優れた文化財の新規国・県指定、国登録 10件 (うち県指定3件)

事業内容の説明 ※上段()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

1 事業の概要

県民の共有財産である文化財を適切に保護、管理するとともに、文化財の指定等を推進するため、文化財保護審議会の開催や、調査指導及び埋蔵文化財保護のため発掘調査の助成を行う。

2 事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	事業内容
審議会開催	3,487	条例に基づき文化財の指定・選定等を行う。
文化財保護調査指導	2,766	○文化財の保護・活用に関する調査指導 ○国・県指定文化財のパトロール活動
埋蔵文化財保護調査	14,154	国庫補助対象となる緊急発掘調査、保存整備活用事業に対して市町村に助成を行う。
指定文化財フォローアップ調査指導	1,238	国、県指定・登録等の文化財の現状確認や保存環境調査などのフォローアップのための調査を行う。 県指定史跡天神山城跡及び本高14号墳の草刈りを委託で実施する。
非常勤職員の雇用 (文化財関係資料のデータ整理事業)	(1,794)	文化財課が所管する、文化財保護法に基づく文化財の取扱いに係る諸手続等の業務について、国、県指定、登録等の関係書類等をデジタル化、データ整理等を行い、文化財保護業務の円滑化を図る。 (緊急雇用創出事業を活用) 雇用創出人数 2人
計	21,645	

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課：(内線：7937)

2目 文化財保護費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化財助成費	69,479	141,120	△71,641	1,737			67,742	

トータルコスト 79,863千円 (前年度151,608千円) [正職員：1.3人]

主な業務内容 申請・報告の審査、市町村等の指導、関係機関との連絡調整

工程表の施策目標(指標) -

事業内容の説明

1 事業の概要

国及び県指定文化財の保存と活用のため、市町村、文化財の所有者及び管理団体が行う文化財保存整備事業などに対して助成を行う。

2 事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	事業内容
保存整備費等補助金	69,373	国指定文化財「史跡鳥取城跡」、県指定文化財「保護文化財聖神社」をはじめとする貴重な文化財の保存整備事業に対する助成
文化財保護調査指導	106	文化財の保護・活用に関する調査指導
計	69,479	

伝統芸能等支援事業

2,777

3,150

△373

2,777

トータルコスト 4,375千円 (前年度4,764千円) [正職員：0.2人]

主な業務内容 申請・報告の審査、資料作成、関係機関との連絡調整

工程表の施策目標(指標) -

事業内容の説明

1 事業の概要

無形民俗文化財の保存伝承を図るため、保存団体の保存伝承活動への支援を行う。

2 事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	事業内容
民俗芸能フォーラム	270	民俗芸能を保存伝承していくためのよりよい方策を、保存団体と一緒に模索するフォーラムを開催する。
伝統芸能功労団体賞 知事表彰	110	後継者育成を熱心に行い、その成果の披露を行っている団体について表彰を行う。
中国・四国ブロック 民俗芸能大会	970	中国・四国ブロック民俗芸能大会へ民俗芸能団体を派遣する。
地域民俗芸能再生事業 費補助金による助成	1,427	地域民俗芸能再生事業－無形民俗文化財の保存伝承を図るため、保存団体の保存伝承活動への支援(演技指導に係る経費、用具購入・補修に係る経費に対する補助)を行う。
計	2,777	

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7524)

2目 文化財保護費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
銃砲刀剣類登録審査事業	3,030	3,044	△14			(手数料) 679 (諸収入) 12	2,339													
トータルコスト	7,024千円(前年度7,078千円) [正職員: 0.5人、非常勤職員: 0.5人]																			
主な業務内容	銃砲刀剣類の登録に関する各種事務、審査会の開催																			
工程表の政策目標	-																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の概要</p> <p>銃砲刀剣類の登録証の交付及び登録原票(約25,000件)の管理</p> <p>2 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録審査会の開催(年4回)・・・新作刀剣、発見銃砲刀剣等の登録審査(年間約100件) 登録原票の管理・・・所有者変更届の受理及び原簿への記載(年間約200件) 登録内容照会対応・・・他県及び警察署からの登録刀剣照会回答(年間約1,000件) <p>3 事業費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録審査会報償費・旅費</td> <td>253千円</td> </tr> <tr> <td>審査委員研修旅費</td> <td>143千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員報酬・共済費</td> <td>2,442千円</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>192千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,030千円</td> </tr> </tbody> </table>									内 容	予算額	登録審査会報償費・旅費	253千円	審査委員研修旅費	143千円	非常勤職員報酬・共済費	2,442千円	その他事務経費	192千円	計	3,030千円
内 容	予算額																			
登録審査会報償費・旅費	253千円																			
審査委員研修旅費	143千円																			
非常勤職員報酬・共済費	2,442千円																			
その他事務経費	192千円																			
計	3,030千円																			

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7934)

2目 文化財保護費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
池田家墓所整備活用促進事業	15,206	15,854	△648				15,206	
トータルコスト	23,993千円 (前年度24,729千円) [正職員: 1.1人]							
主な業務内容	補助金申請・報告の審査、補助金支払、関係機関との連絡・調整、文化財整備保存指導							
工程表の施策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が行う国史跡鳥取藩主池田家墓所の管理、活用及び保存整備等に要する経費に対して補助を行う。								
2 事業内容								
史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が実施する主な事業								
(1) 墓所の監視及び清掃、現地案内								
(2) 普及啓発・情報発信等								
・ 燈籠会の開催								
・ 写真コンクール巡回展示の実施								
・ (臨) 第3回大名墓研究会・鳥取大会の開催								
(3) 保存整備事業								
3 事業費 (単位: 千円)								
項目	主な内容						補助率	県補助額
役員会費	・ 理事会・評議員会の開催 (年2~3回)						県 1/2 鳥取市 1/2	214
事務局運営費	・ 事務局書記の報酬ほか							1,157
管理費	・ 墓所管理人の報酬 ・ 休憩舎及び公衆トイレの光熱水費 ・ 雑木倒木等の撤去費など							938
事業費 (単県・市)	・ 普及啓発・情報発信等の経費 (燈籠会、写真コンクール、第3回大名墓研究会など)							1,905
事業費 (国庫)	・ 整備検討委員会の開催 ・ 保存整備工事設計監理委託 ・ 保存整備工事の実施						国 1/2 県 1/4 鳥取市 1/4	10,992
合計								15,206

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7932)

2目 文化財保護費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
妻木晩田遺跡調査整備事業 (保存整備)	265,451	224,751	40,700	131,768			133,683	
トータルコスト	283,823千円 (前年度246,535千円) [正職員: 2.3人]							
主な業務内容	遺跡の復元整備に係る工事 (委託業務) 等の設計、施工管理及び第2期整備に向けての計画の検討							
工程表の施策目標(指標)	第1期整備を平成23年度末までに完了し、公開する							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
平成17年度から23年度まで、妻木晩田遺跡整備活用基本計画に沿って、国の史跡等総合整備活用推進事業として史跡整備を行っており、平成23年度は、基本計画に基づき遺構表示の設置、園路等の整備を実施するとともに第2期整備のあり方について検討する。								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	事業内容						
妻木山地区整備	110,578	①遺構表示設置 遺跡の発掘調査の過程や手法が理解でき、かつ疑似発掘体験を来場者に楽しんでもいただくための発掘調査区の再現場所を設置する。(面積約3,400㎡) ②園路整備、案内板設置 管理道約830m、遊歩道約180m						
仙谷・妻木新山地区整備	151,061	①弥生の森景観整備 妻木新山地区の弥生の森を公開するために林地内の伐木撤去等を行い、来場者が安心、快適に自然散策できるよう景観整備を行う。 ②園路整備、案内板設置 管理道約1,330m、遊歩道約980m						
第2期整備活用検討会の開催	2,394	第1期整備の公開状況を踏まえ、整備活用基本計画(平成15年度策定)に基づき、松尾頭地区等の整備や活用のあり方を検討する。						
保存整備事業報告書刊行	1,418	平成17年度から23年度までの整備事業の報告書を刊行する。						
計	265,451							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7932)

2目 文化財保護費

(単位: 千円)

事、業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源																			
妻木晩田遺跡調査整備事業 (発掘調査)	11,402	17,836	△6,434	5,278		9	6,115																			
トータルコスト	24,183千円 (前年度29,131千円) [正職員: 1.6人、非常勤職員: 3.2人]																									
主な業務内容	遺跡の発掘及び調査内容を分析、研究成果を調査報告書として刊行、発掘・出土品の整理のための作業員の雇用																									
工程表の施策目標(指標)	発掘調査を実施し、遺跡の全体像を解明する																									
事業内容の説明																										
<p>1 事業の概要</p> <p>国史跡妻木晩田遺跡の集落像を解明するため、発掘調査年次計画に基づき、発掘調査委員会の助言を得ながら発掘調査を実施する。</p> <p>また、発掘調査研究年報を刊行し、調査成果の情報発信を行う。</p>																										
<p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発掘調査</td> <td>9,866</td> <td>墳墓域の実態解明を目的とし、仙谷地区西側丘陵にある仙谷1号墓周辺の調査及び発掘調査で出土した遺物の整理作業を実施する。</td> </tr> <tr> <td>発掘調査委員会、現地指導</td> <td>856</td> <td>調査成果を学術的に検討するため、専門の委員による発掘調査委員会及び現地指導を実施する。</td> </tr> <tr> <td>発掘調査研究年報の作成、刊行</td> <td>272</td> <td>仙谷地区の発掘調査概要(平成23年度調査)及び研究成果を発掘調査研究年報として刊行し、情報発信を実施する。</td> </tr> <tr> <td>出土遺物保存処理</td> <td>408</td> <td>脆弱な遺物について、長期間の保存、展示に耐えるよう保存処理を実施するとともに保存処理後劣化し、破損する可能性のある鉄製品について再処理を実施する。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,402</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	発掘調査	9,866	墳墓域の実態解明を目的とし、仙谷地区西側丘陵にある仙谷1号墓周辺の調査及び発掘調査で出土した遺物の整理作業を実施する。	発掘調査委員会、現地指導	856	調査成果を学術的に検討するため、専門の委員による発掘調査委員会及び現地指導を実施する。	発掘調査研究年報の作成、刊行	272	仙谷地区の発掘調査概要(平成23年度調査)及び研究成果を発掘調査研究年報として刊行し、情報発信を実施する。	出土遺物保存処理	408	脆弱な遺物について、長期間の保存、展示に耐えるよう保存処理を実施するとともに保存処理後劣化し、破損する可能性のある鉄製品について再処理を実施する。	計	11,402	
区分	予算額	事業内容																								
発掘調査	9,866	墳墓域の実態解明を目的とし、仙谷地区西側丘陵にある仙谷1号墓周辺の調査及び発掘調査で出土した遺物の整理作業を実施する。																								
発掘調査委員会、現地指導	856	調査成果を学術的に検討するため、専門の委員による発掘調査委員会及び現地指導を実施する。																								
発掘調査研究年報の作成、刊行	272	仙谷地区の発掘調査概要(平成23年度調査)及び研究成果を発掘調査研究年報として刊行し、情報発信を実施する。																								
出土遺物保存処理	408	脆弱な遺物について、長期間の保存、展示に耐えるよう保存処理を実施するとともに保存処理後劣化し、破損する可能性のある鉄製品について再処理を実施する。																								
計	11,402																									

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7932)

2目 文化財保護費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
妻木晩田遺跡維持管理事業	47,211	42,737	4,474			(使用料) 25 (諸収入) 154	47,032	
トータルコスト	61,589千円 (前年度54,032千円) [正職員: 1.8人、非常勤職員: 7.6人]							
主な業務内容	遺跡内の除草・樹木管理・復元建物の修繕等の維持管理、遺跡内にある建物の清掃・警備・点検などの施設管理及び契約、維持管理作業員・受付員の雇用							
工程表の施策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>国史跡妻木晩田遺跡を訪れる見学者の方々に、遺跡を安全かつ快適に見学していただき、史跡を適切に保護するため、史跡および事務所等の維持管理を行う。</p>								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	事業内容						
史跡管理事業	28,796	復元建物等の施設の維持管理および史跡内の環境整備を行う。 ① 竪穴住居の燻蒸、除草、里山管理業務 ② 芝生・樹木管理、芝張り、産業廃棄物処理業務等						
施設、設備管理事業	18,415	事務所等、史跡管理施設・設備の維持管理を行う。 ① 建物清掃、建物警備、除雪業務、各種設備保守点検、光熱水費等 [(新)新築した遺構展示施設(覆屋)、休憩施設(休憩舎)の施設管理費を含む] ② ガイダンス施設「弥生の館 むきぼんだ」受付員雇用						
計	47,211							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線：7932)

2目 文化財保護費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																					
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源																						
青谷上寺地遺跡発掘調査事業	57,154	62,910	△5,756	21,932		162	35,060																						
トータルコスト	85,112千円 (前年度91,148千円) [正職員：3.5人、非常勤職員：18.0人]																												
主な業務内容	調査計画立案、関係者との協議調整、発掘調査の実施 (作業員雇用、機器等賃貸借、測量等委託)、分析等委託実施、出土品保存処理、委員会開催																												
工程表の施策目標(指標)	遺跡の中心部及び周辺部を調査研究し、遺跡の全容を解明する																												
事業内容の説明																													
<p>1 事業の概要</p> <p>国史跡青谷上寺地遺跡を整備・活用していくために必要なデータを得ることを目的として発掘調査を実施する。遺跡の詳細な内容を確認し、構造・景観などの実態解明を図り、『青谷上寺地遺跡保存活用整備構想』のコンセプトである「交易拠点としての港湾集落」の具体像を探る。</p>																													
<p>2 事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遺跡詳細調査</td> <td>47,412</td> <td>遺跡の盛期である弥生時代後期後葉の中心域周辺における集落様相を解明するための調査を行う。 ・発掘調査面積：180㎡</td> </tr> <tr> <td>遺跡周辺調査</td> <td>—</td> <td>青谷上寺地遺跡をとりまく環境を把握し、関連する遺跡を確認するため、遺跡西側の丘陵部を踏査する。</td> </tr> <tr> <td>埋蔵環境調査</td> <td>1,355</td> <td>青谷上寺地遺跡の出土遺物が良好に保存された要因を探るとともに、地下環境を継続的に観察する。 ・地下水位観測：既設観測坑での水位観測と水質調査</td> </tr> <tr> <td>出土品の保存処理</td> <td>7,707</td> <td>出土品の調査研究や活用を可能とするため、また、貴重な出土品を後世に引き継ぐための恒久的な保存処理を行う。 ・木器、金属器、骨角器の保存処理(1,419点)</td> </tr> <tr> <td>発掘調査委員会</td> <td>680</td> <td>発掘調査委員会 (年3回) を開催する。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57,154</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	遺跡詳細調査	47,412	遺跡の盛期である弥生時代後期後葉の中心域周辺における集落様相を解明するための調査を行う。 ・発掘調査面積：180㎡	遺跡周辺調査	—	青谷上寺地遺跡をとりまく環境を把握し、関連する遺跡を確認するため、遺跡西側の丘陵部を踏査する。	埋蔵環境調査	1,355	青谷上寺地遺跡の出土遺物が良好に保存された要因を探るとともに、地下環境を継続的に観察する。 ・地下水位観測：既設観測坑での水位観測と水質調査	出土品の保存処理	7,707	出土品の調査研究や活用を可能とするため、また、貴重な出土品を後世に引き継ぐための恒久的な保存処理を行う。 ・木器、金属器、骨角器の保存処理(1,419点)	発掘調査委員会	680	発掘調査委員会 (年3回) を開催する。	計	57,154	
区分	予算額	事業内容																											
遺跡詳細調査	47,412	遺跡の盛期である弥生時代後期後葉の中心域周辺における集落様相を解明するための調査を行う。 ・発掘調査面積：180㎡																											
遺跡周辺調査	—	青谷上寺地遺跡をとりまく環境を把握し、関連する遺跡を確認するため、遺跡西側の丘陵部を踏査する。																											
埋蔵環境調査	1,355	青谷上寺地遺跡の出土遺物が良好に保存された要因を探るとともに、地下環境を継続的に観察する。 ・地下水位観測：既設観測坑での水位観測と水質調査																											
出土品の保存処理	7,707	出土品の調査研究や活用を可能とするため、また、貴重な出土品を後世に引き継ぐための恒久的な保存処理を行う。 ・木器、金属器、骨角器の保存処理(1,419点)																											
発掘調査委員会	680	発掘調査委員会 (年3回) を開催する。																											
計	57,154																												

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7932)

2目 文化財保護費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業	26,905	32,629	△5,724	6,062		73	20,770	
トータルコスト	51,668千円 (前年度57,640千円) [正職員: 3.1人、非常勤職員: 8.0人]							
主な業務内容	調査研究計画立案、関係者との協議調整、データベース作成、報告書作成、海外との調査研究交流、レプリカ作成、講座・ミニフォーラムの開催、脳・人骨の研究							
工程表の施策目標(指標)	遺跡の中心部及び周辺部を調査研究し、遺跡の全容を解明する 土曜弥生講座・ミニフォーラムを年5回開催							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
青谷上寺地遺跡の出土品が持つ豊富な情報を県民に情報発信するため、出土品の調査研究と海外調査などを行い、出土品の活用を図る。								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	事業内容						
出土品の調査研究	20,004	○木製農工具、漁撈具、土器、石器の調査研究 (データベース作成) ○木製農工具・漁撈具調査研究報告書作成 ○金属器に関する普及啓発パンフレット作成						
海外との調査研究交流	1,052	○海外(主に韓国)の出土遺物・遺跡立地環境等との比較研究						
出土品のレプリカ作成	3,950	○東アジア最古の緑土使用例である木製盾レプリカ作成						
青谷上寺地遺跡弥生講座 関連事業	841	○青谷上寺地遺跡の発掘調査や出土品の調査成果を地元の方々を主対象に情報発信 ・土曜講座(偶数月第2土曜日に計4~5回開催) ・ミニフォーラム 調査研究成果について、よりグローバルな視点で専門的に情報発信することを目的とした、外部講師を招いての講演会を行う。						
脳、人骨等の研究	1,058	○弥生人の脳の保管と氷温庫メンテナンス						
計	26,905							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7934)

2目 文化財保護費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
青谷上寺地遺跡史跡指定地公有化・保存活用事業	361,093	333,003	28,090	282,769			78,324	
トータルコスト	376,270千円 (前年度348,332千円) [正職員: 1.9人、非常勤職員: 0.3人]							
主な業務内容	用地交渉、委託業務発注・進行管理、国との調整、活用協議会開催準備・関係機関との調整・資料作成・会議運営							
工程表の施策目標(指標)	指定地の公有化(民有地): 公有化92%(面積ベース)							

事業内容の説明

1 事業の概要

青谷上寺地遺跡を保存・整備・活用するため、国史跡指定地を平成20年度から10ヵ年かけて公有化する。

また、公有化した土地を関係機関と連携して維持管理及び活用方策を検討する。

2 事業内容

(1) 青谷上寺地遺跡の公有化

平成21年度に鳥取市が公有化した土地と一体となって整備を進めるため、平成20～22年度には史跡指定地の南側(県道274号より南側)を公有化した。平成23年度は、史跡指定地の北側(県道274号の北側及び青谷中学校の北側)の公有化を行う。

(2) 公有化した土地の維持管理

草刈のほか、花栽培など、より経済的で集客の見込める方法で実施する。

(3) 公有化した土地の活用方策の検討

史跡の保存活用を図るため、県・鳥取市・民間が協働連携して青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会を設立。平成23年度からは、協議会が主体的に遺跡の活用事業の運営に関わり、多様な事業展開を図る。

3 事業費

(単位: 千円)

区分	予算額	事業内容
用地調査委託料	4,685	建物等の補償額の算定を委託する。
維持管理委託料	6,720	公有化した土地の維持管理を委託する。
土地購入費・建物等補償費	348,482	土地購入費と建物等の補償費
協議会等に係る経費	1,206	公有化した土地の活用方法の検討に係る経費
合計	361,093	

債務負担行為 平成20～29年度 1,509,688千円 (土地購入費・建物等補償金)

平成19年度当初予算承認済

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7932)

6目 埋蔵文化財センター費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
埋蔵文化財センター運営費	(27,768) 20,535	(33,910) 22,982	(△1,317) △2,447			(12,058) (使用料) 4,300 (諸収入) 525	(15,710) 15,710	
トータルコスト	37,310千円 (前年度39,925千円) [正職員: 2.1人、非常勤職員: 2.0人]							
主な業務内容	施設の維持管理、職員の人事管理							
工程表の施策目標(指標)	-							
事業内容の説明	※上段の()内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額							
1 事業の概要	埋蔵文化財センター職員の人事管理並びに埋蔵文化財センター(青谷調査室、秋里分室、積善分館、旧美和分校含む)の施設の維持管理を行う。							
2 事業内容	(単位: 千円)							
区分	予算額	事業内容						
埋蔵文化財センター管理運営	20,535	埋蔵文化財センター(青谷調査室、秋里分室、積善分館、旧美和分校を含む)の施設の維持管理を行う。						
非常勤職員の雇用 (埋蔵文化財センター保管資料整理事業)	(7,233)	埋蔵文化財センターが保有・管理している重要な資料(写真データや図面等)について、一元管理や利便性・検索の効率化等を図るため、それぞれのデータに各種情報等を付加するなどの整理を行う。 (緊急雇用創出事業を活用) 雇用創出人数 8人						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課（内線：7932）

6目 埋蔵文化財センター費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
鳥取県の考古学情報発信事業	9,372	9,708	△336	2,788		18	6,566	
トータルコスト	25,348千円（前年度25,844千円）[正職員：2.0人、非常勤職員：2.0人]							
主な業務内容	企画立案、関係者との協議調整、普及資料作成配布、展示資料等作成、資料展示の実施、市町村への指導助言、出前講演の実施							
工程表の施策目標(指標)	—							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
埋蔵文化財に関する情報を発信し、普及活動を行う。								
2 事業内容								
（単位：千円）								
区分	予算額	事業内容						
普及資料の作成、配布	1,807	○調査研究紀要の刊行 ○県内の考古学情報を提供する観光リーフレットの刊行 ○遺跡地図の改訂、配布						
発掘資料の展示、活用	7,044	○「来て!見て!!さわって!!!鳥取発掘速報展」の開催 （東・中・西部の3会場で巡回展示） ○「新発見!とっとり・しまね発掘速報展」の開催 （島根県と連携した発掘調査速報展を両県で実施） ○埋蔵文化財センター古代祭りの開催 ○出土品等の整理・復元 ○写真資料のデジタルデータ化						
古代歴史への誘い事業	521	文化財主事が県内や全国各地に出かけて出前講演を行い、鳥取県の歴史や文化のすばらしさを全国に情報発信する。						
計	9,372							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7932)

6目 埋蔵文化財センター費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
埋蔵文化財専門職員研修事業	400	400	0				400	
トータルコスト	1,199千円 (前年度1,207千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	企画立案、講師等との協議調整、研修会開催							
工程表の施策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
埋蔵文化財関係者等を対象とする専門研修、新採用・異動職員研修を実施する。								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	事業内容						
専門研修、基礎研修	400	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査に必要な専門的技術等の研修 (3日間) 発掘調査に必要な基礎的技術等の研修 (3日間) 						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 79.32)

6目 埋蔵文化財センター費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
受託発掘調査事業	485,857	466,733	19,124			485,857		
トータルコスト	631,239千円 (前年度613,571千円) [正職員: 18.2人、非常勤職員: 132.5人]							
主な業務内容	調査計画立案、関係者との協議調整、発掘調査の実施 (作業員等雇用、機器等賃貸借、測量・分析等委託)、報告書作成配布							
工程表の施策目標(指標)	-							

事業内容の説明

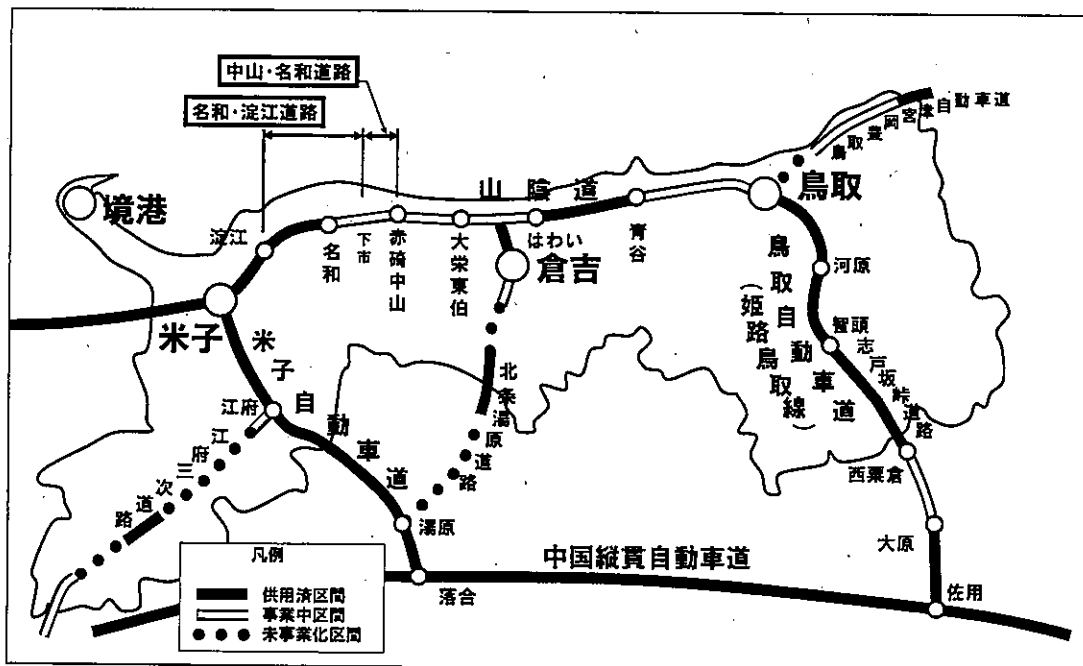
1 事業の概要

一般国道9号(名和淀江道路、名和中山道路)建設に伴う埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るため、開発事業に先立って記録保存を前提とした発掘調査を実施する。

2 事業内容

(単位: 千円)

事業区分	予算額	調査遺跡名
名和・淀江道路関係 調査面積 10,658㎡	138,108	(1)倉谷西中田遺跡 (2)倉谷荒田遺跡 (3)豊成叶林遺跡 (4)豊成上神原遺跡
中山・名和道路関係 調査面積 26,513㎡	347,749	(1)殿河内上ノ段大ブケ遺跡 (2)殿河内定屋ノ前遺跡 (3)殿河内ウルミ谷遺跡 (4)赤坂頭無し遺跡 (5)石井垣上河原遺跡 (6)赤坂小丸山遺跡
計	485,857	



平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課 (内線: 7937)

6目 埋蔵文化財センター費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
受託発掘調査事業 (山陰道「鳥取西道路」)	710,000	540,000	170,000			710,000		
トータルコスト	712,396千円 (前年度542,420千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	契約事務、関係機関との連絡調整							
工程表の施策目標(指標)	-							

事業内容の説明

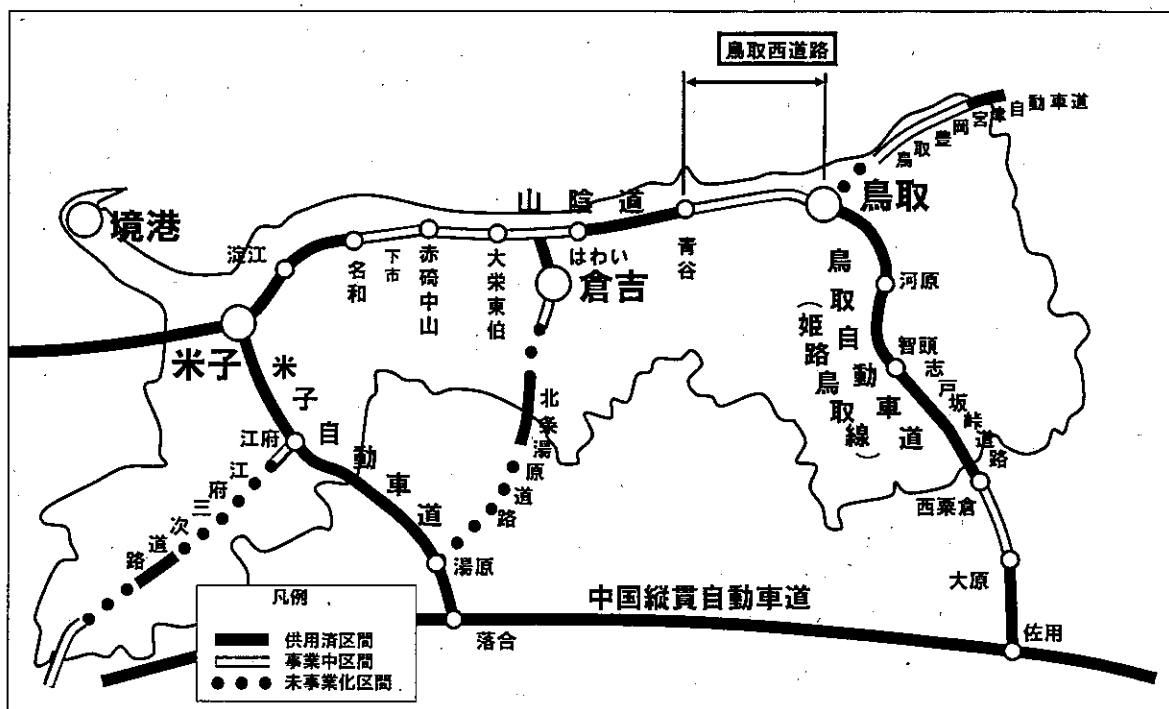
1 事業の概要

一般国道9号(鳥取西道路)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査を、国土交通省からの委託を受けて実施する。

2 事業内容

以下の遺跡について、発掘調査を実施する。

調査遺跡名	所在地	遺跡の概要
高住平田遺跡1区	鳥取市	縄文時代～中世の集落跡、水田跡
高住平田遺跡3区	鳥取市	縄文時代～中世の集落跡、水田跡
高住牛輪谷遺跡	鳥取市	縄文時代～中世の集落跡、水田跡
良田平田遺跡	鳥取市	古墳時代～古代の集落跡、水田跡
良田稲場遺跡	鳥取市	古墳時代～古代の集落跡、水田跡
調査面積	39,300㎡	
所要経費	710,000千円	



平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
4目 博物館費

博物館(0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (使用料)	一般財源	
企画展開催費	84,038	82,880	1,158			12,600	71,438	
トータルコスト	114,392千円(前年度:115,152千円)[正職員:3.8人、非常勤職員:6.6人]							
主な業務内容	企画展の開催							
工程表の政策目標(指標)	教育振興基本計画に掲げた入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.4万人増、平成23年度:入館者数6.3万人)							

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取県の自然・歴史・美術に関するものや世界的・全国的に貴重なものについて、資料、作品と研究成果等を企画展として広く県民に紹介する。

2 事業内容

(単位:千円)

企画展名(仮称)	予算額	会 期	内 容
没後50年森岡柳蔵展	9,765	平成23年 4月9日～ 5月22日	県中部出身の洋画家・森岡柳蔵の没後50年にあたり、その代表作を展示するとともに、近年確認された資料により師・黒田清輝の関係など、その画業を紹介する展覧会。
ジョルジョ・モランディ展	29,462	平成23年 6月5日～ 7月14日	20世紀イタリアの画家モランディの静謐で知的な雰囲気と、同時代に活躍した画家、影響を与えた画家等の作品も併せて紹介する展覧会。
OCEAN! 海はモンスターでいっぱい	22,951	平成23年 7月23日～ 8月28日	古生代、中生代、新生代と各時代の主人公であった「海のモンスター」たちを紹介し、生物の進化の意味を学び、地球の未来のあるべき姿について考える。
大久保英治一歩くことから生まれるさまざまな表現	6,757	平成23年 11月16日～ 12月25日	平成17年度に実施した「歩くワークショップ」をもとに、岩美町在住の美術家・大久保英治の歩くことによって生まれる表現を紹介する展覧会。
鳥取鉄道物語ー山陰線開通100年ー	14,925	平成24年 2月11日～ 3月20日	山陰線開通100年に合わせて、県内及び近県の鉄道の発展、変遷と明治時代から現代までの鳥取県の近代化の歩みを紹介する。
没後50年・日本民藝館開館75周年ー暮らしへの眼差しー柳宗悦展	178	平成24年 4月7日～ 5月20日	民芸運動を創始した柳宗悦の没後50年を記念し、鳥取とも縁の深い柳によって提唱された新しい美の概念、工芸理論を同じ年に開館75周年を迎える日本民藝館のコレクションによって紹介する。
合 計	84,038		

3 これまでの取組状況、改善点

【指標】平成22年度目標入館者数 6.1万人 → 【現状】7.6万人(12月末)

○入館者数全体では順調に進んでいるが、企画展の分野・内容により入館者数に差がある。

○企画展の内容については、来館者の90%以上の方から「満足」、「大変満足」という高い評価をいただいている。

○今後の入館者の増につなげるため、

①県外の博物館、美術館と連携した巡回展、体験イベント等取り入れた企画展の実施等、引き続き魅力的な企画展の開催

②広報活動範囲の拡充及び早い時期からの周知活動の開始などの活動を実施する。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

6 項 社会教育費

4 目 博物館費

博物館 (0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
『山陰海岸ジオパーク』の魅力 を学ぶ講座開催 費	1,914	1,714	200				1,914	
トータルコスト	9,103千円 (前年度:8,975千円) [正職員:0.9人]							
主な業務内容	教育普及活動業務、情報発信業務、関係機関との調整・協議業務							
工程表の政策目 標 (指標)	教育振興基本計画に掲げた入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.4万人増、平成23年度:入館者数6.3万人) 教育振興基本計画に掲げた教育普及活動への入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.1万人増、平成23年度:0.3万人)							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
山陰海岸学習館で関係機関と連携しながら『山陰海岸ジオパーク』の魅力を楽しく学べる観察会や講座の開催、公民館や学校などの要請に応じて学芸員を派遣する「ジオパーク出前講座」等を行う。								
2 事業内容 (単位:千円)								
区分	予算額	事業内容						
主催講座等の開催 (年1.5回)	1,414	○山陰海岸ジオパークの魅力を楽しむ観察会や自然講座の開催 ○ジオパーク推進協議会等と連携した観察会や講座等の実施 ・兵庫県立「人と自然の博物館」と連携したバスツアーの実施 ・歴史系講座の新設 ・推進協議会事業への出展などの連携協力						
学芸員の派遣 (「ジオパーク出前 講座」等)	500	○学芸員派遣(派遣旅費) ・学校や地域の社会教育団体などの要請に応じて、ジオパークについて学ぶ学習会などへ講師として学芸員を派遣する「ジオパーク出前講座」等を行う。						
3 これまでの取組状況、改善点								
○山陰海岸学習館では平成21年度に「山陰海岸ジオパークの地形・地質を学ぶ講座」を新たに追加し、平成22年度には、『山陰海岸ジオパーク』の地形・地質はもちろん、ジオパーク内の動植物にも着目して事業を見直し、教育普及活動を展開した。								
○平成23年度は、世界ジオパークに認定された「山陰海岸ジオパーク」の魅力を分かりやすく楽しく伝えられるよう、講座等の充実に努める。								
○また、講座の実施に当たっては、関係市町や民間団体とも連携協力し、適切な役割分担により内容の重複等避け、効率的・効果的な事業実施に努める。								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
4目 博物館費

博物館(0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (使用料) 1,766 (財産収入) 2,583 (諸収入) 723	一般財源	
博物館運営費	96,218	94,319	1,899				91,146	

トータルコスト 140,152千円(前年度:137,079千円)[正職員:5.5人、非常勤職員:5.8人]

主な業務内容 会計事務、物品管理、施設管理、関係機関との調整

工程表の政策目標(指標) 教育振興基本計画に掲げた入館者目標値の実現
(平成25年度までに0.4万人増、平成23年度:入館者数6.3万人)
教育振興基本計画に掲げた教育普及活動への入館者目標値の実現
(平成25年度までに0.1万人増、平成23年度:0.3万人)
来館者の施設・サービスに対する満足度の向上

事業内容の説明

博物館の運営、施設管理、博物館協議会の運営、データベース管理及び博物館振興会への助成等を行う。

<見直し・改善>

来館者サービスの一層の向上につながるよう、来館者等からの意見を聞きながら、博物館運営を進める。

広報活動の範囲を拡充するとともに、さらに早い時期からの広報活動を開始する。

(単位:千円)

事業区分	予算額	事業内容
管理運営費	86,735	・非常勤職員(夜間警備員・受付等)の配置 ・設備関係日常業務の一部外部委託 ・来館者サービスの向上(開館延長) ・広報(新聞広告、TVスポット、ポスターなど) ・(臨)博物館カフェの改修等
博物館協議会運営費	1,013	委員報酬等
データベース保守管理	6,613	・博物館資料を一般公開するためのデータベースの保守管理 ・(臨)資料データベース公開システムの改修等
博物館振興会への助成	1,857	博物館振興会職員(非常勤職員)の人件費の助成

<債務負担行為>平成24年度~平成25年度

博物館設備保守業務委託 8,842千円

(エレベーター保守、冷温水発生器保守、ばい煙測定、空気環境測定、受水槽・高架水槽清掃)

自然事業費	13,585	13,924	△339	(諸収入) 12	13,573
-------	--------	--------	------	-------------	--------

トータルコスト 27,165千円(前年度:28,446千円)[正職員:1.7人、非常勤職員:1.0人]

主な業務内容 自然に関する資料の収集、展示、保存、調査研究

工程表の政策目標(指標) 教育振興基本計画に掲げた入館者目標値の実現
(平成25年度までに0.4万人増、平成23年度:入館者数6.3万人)
教育振興基本計画に掲げた教育普及活動への入館者目標値の実現
(平成25年度までに0.1万人増、平成23年度:0.3万人)
来館者の施設・サービスに対する満足度の向上

事業内容の説明

自然部門(地学・生物)の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行う。

<見直し・改善>

資料収集・調査研究等を推進し、新たな知見や発見を提供するため展示等を考えていく。

(単位:千円)

事業区分	予算額	事業内容	
資料収集研究費	資料収集費	6,864	・自然資料(標本・剥製など)の収集、製作、機材購入、修復等
	調査研究費	5,182	
常設展示費	1,539	・自然事業および展覧会開催に関する調査研究 ・常設展示室(地学・生物)の運営、メンテナンス、展示更新	

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

6 項 社会教育費

4 目 博物館費

博物館(0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
人文事業費	22,186	25,871	△3,685			38	22,148	
トータルコスト	51,742千円(前年度:55,723千円)[正職員:3.7人、非常勤職員:3.0人]							
主な業務内容	考古・歴史・民俗に関する資料の収集、展示、保存、調査研究							
工程表の政策 目標(指標)	教育振興基本計画に掲げた入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.4万人増、平成23年度:入館者数6.3万人) 教育振興基本計画に掲げた教育普及活動への入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.1万人増、平成23年度:0.3万人) 来館者の施設・サービスに対する満足度の向上							

事業内容の説明

人文部門(考古・歴史・民俗)の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行うとともに、藩政資料の整備、修復・情報発信を行う。

<見直し・改善>

資料収集・調査研究等を推進し、新たな知見や発見を提供するため展示等を考えていく。

(単位:千円)

事業区分		予算額	事業内容
資料収集研究費	資料収集調査研究費	2,790	資料(考古・歴史・民俗)の収集、修復及び企画展の調査研究
	歴史資料等購入事業費	2,891	鳥取県に関わる貴重な歴史資料等の購入
常設展示費	常設展示費	1,162	常設展示室(歴史・民俗)の運営、メンテナンス、展示更新、展示機器の更新
	歴史民俗常設展示室改善充実事業	2,591	鳥取県の歴史・民俗を象徴する資料のレプリカの製作
	鳥取県の歴史・民俗事象調査事業	893	常設展示及び普及事業等で、県内の歴史・民俗事象に関する最新の成果・知見を紹介するための調査
藩政資料活用事業費	藩政資料整備費	9,915	池田家文書の補修、複本製作(第2次14カ年計画(H17~30)の7年目)
	池田家文書デジタル発信事業	150	資料保護と活用の利便性向上のため、池田家文書のデジタル画像の作成(H14年度以降、CD配布)
	障がい者雇用促進事業	1,794	池田家文書のデジタル化の加速と、障がい者の雇用促進のため、デジタル画像作成作業を行う非常勤職員の配置

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

6 項 社会教育費

4 目 博物館費

博物館 (0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
美術事業費	19,377	19,655	△278				19,377	

トータルコスト 44,140千円 (前年度:43,052千円) [正職員:3.1人、非常勤職員:1.6人]

主な業務内容 美術に関する資料の収集、展示、保存、調査研究

工程表の政策目標 (指標) 教育振興基本計画に掲げた入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.4万人増、平成23年度:入館者数6.3万人)
教育振興基本計画に掲げた教育普及活動への入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.1万人増、平成23年度:0.3万人)
来館者の施設・サービスに対する満足度の向上

事業内容の説明

美術部門 (絵画・彫刻・工芸・書等) の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行う。

<見直し・改善>

資料収集・調査研究等を推進し、新たな知見や発見を提供するため展示等を考えていく。

(単位:千円)

事業区分	予算額	事業内容	
資料収集研究費	調査研究費	1,069	・美術事業や展覧会に関する調査研究 ・郷土の美術作家に関する調査研究
	資料修理費	4,539	・保存、展示のための資料修復
	美術品収集費	6,801	・画廊、作家遺族、作家等からの情報収集、資料収集 ・収集評価委員会の開催
常設展示費	6,968	・近世及び近代美術資料の展示公開	

博物館普及事業費	6,244	5,882	362				6,244	
----------	-------	-------	-----	--	--	--	-------	--

トータルコスト 36,598千円 (前年度:35,734千円) [正職員:3.8人]

主な業務内容 生涯学習支援、学校教育支援、情報発信

工程表の政策目標 (指標) 教育振興基本計画に掲げた入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.4万人増、平成23年度:入館者数6.3万人)
教育振興基本計画に掲げた教育普及活動への入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.1万人増、平成23年度:0.3万人)
来館者の施設・サービスに対する満足度の向上

事業内容の説明

県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。

<見直し・改善>

普及活動への入館者増に向けての広報を徹底するため、「広報チーム」を組織し、広報戦略の立案及び広報の展開を進めているところである。

(単位:千円)

事業区分	予算額	事業内容
生涯学習支援活動及び情報発信	4,676	・専門知識や資料作品などを活用した講座、観察会等の開催 ・「移動博物館」、「移動美術館」の開催 ・鳥取県立博物館ニュース、鳥取県立博物館研究報告の発行
学校教育支援活動	1,568	・学芸員の派遣や資料の貸出し

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
4目 博物館費

博物館(0857-26-8042)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
ジオパークを楽しく学べる学習館充実事業費	16,570	13,898	2,672			(使用料) 52 (諸収入) 101	16,417													
トータルコスト	30,948千円(前年度:28,420千円)[正職員:1.8人、非常勤職員:3.0人]																			
主な業務内容	展示、調査研究の実施及び資料の収集、情報発信、ジオパーク学術支援、施設の管理運営																			
工程表の政策目標(指標)	教育振興基本計画に掲げた入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.4万人増、平成23年度:入館者数6.3万人) 教育振興基本計画に掲げた教育普及活動への入館者目標値の実現 (平成25年度までに0.1万人増、平成23年度:0.3万人) 来館者の施設・サービスに対する満足度の向上																			
事業内容の説明																				
山陰海岸学習館の管理運営や資料の収集、調査研究等を行う。 <見直し・改善> 急増する来館者への展示解説サービスの拡充を図るため、展示解説専門員(非常勤)を増員する。 資料収集・調査研究等を推進し、新たな知見や発見を提供するため展示等を考えていく。 地学等の調査研究体制の整備を進めていく。 (単位:千円)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理運営費</td> <td>14,102</td> <td>・非常勤専門員(展示室体験学習コーナー)2名の配置 ・非常勤職員(事務補助)1名の配置 ・施設管理に係る各種業務委託費</td> </tr> <tr> <td>調査研究・常設展示費</td> <td>2,468</td> <td>・展示用剥製製作委託費、展示用生物の購入 ・常設展示に関する調査研究</td> </tr> </tbody> </table>									事業区分	予算額	事業内容	管理運営費	14,102	・非常勤専門員(展示室体験学習コーナー)2名の配置 ・非常勤職員(事務補助)1名の配置 ・施設管理に係る各種業務委託費	調査研究・常設展示費	2,468	・展示用剥製製作委託費、展示用生物の購入 ・常設展示に関する調査研究			
事業区分	予算額	事業内容																		
管理運営費	14,102	・非常勤専門員(展示室体験学習コーナー)2名の配置 ・非常勤職員(事務補助)1名の配置 ・施設管理に係る各種業務委託費																		
調査研究・常設展示費	2,468	・展示用剥製製作委託費、展示用生物の購入 ・常設展示に関する調査研究																		
収蔵資料管理事業	5,429	4,983	446			(諸収入) 13	5,416													
トータルコスト	9,423千円(前年度:9,017千円)[正職員:0.5人、非常勤職員:1.0人]																			
主な業務内容	被害調査、資料管理																			
工程表の政策目標(指標)	来館者の施設・サービスに対する満足度の向上																			
事業内容の説明																				
博物館が収蔵している資料を害虫やカビ類などから守るための被害調査や防除対策を行う。 <見直し・改善> 引き続き日常的な館内環境の維持向上に取り組むとともに、資料保存上必要な機器の整備などを進め、資料保存管理体制の充実を図る。 (単位:千円)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資料管理専門員の配置</td> <td>2,667</td> <td>・非常勤職員の配置(1名)</td> </tr> <tr> <td>被害調査・害虫対策</td> <td>1,942</td> <td>・展示室や収蔵庫内の害虫類のチェック ・害虫モニタリング調査及び分析 ・害虫の殺虫、殺菌作業 ・バイオメディカルフリーザー等機器の整備</td> </tr> <tr> <td>調査研究</td> <td>820</td> <td>・害虫類の生態及び防除法研究、関連研修会参加</td> </tr> </tbody> </table>									事業区分	予算額	事業内容	資料管理専門員の配置	2,667	・非常勤職員の配置(1名)	被害調査・害虫対策	1,942	・展示室や収蔵庫内の害虫類のチェック ・害虫モニタリング調査及び分析 ・害虫の殺虫、殺菌作業 ・バイオメディカルフリーザー等機器の整備	調査研究	820	・害虫類の生態及び防除法研究、関連研修会参加
事業区分	予算額	事業内容																		
資料管理専門員の配置	2,667	・非常勤職員の配置(1名)																		
被害調査・害虫対策	1,942	・展示室や収蔵庫内の害虫類のチェック ・害虫モニタリング調査及び分析 ・害虫の殺虫、殺菌作業 ・バイオメディカルフリーザー等機器の整備																		
調査研究	820	・害虫類の生態及び防除法研究、関連研修会参加																		

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

博物館（0857-26-8042）

4目 博物館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
収蔵スペース確保事業	(4,362) 2,196	(2,790) 1,714	(1,572) 482			(2,166)	(2,196) 2,196	

トータルコスト	6,989千円(前年度：7,362千円) [正職員：0.6人]							
主な業務内容	改善プランづくり、資料の確認分類、資料書庫の整理							
工程表の政策目標(指標)	来館者の施設・サービスに対する満足度の向上							

事業内容の説明 ※上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

博物館の収蔵資料の収蔵スペースに余裕がなくなってきたことに対応するため、資料等の館外保管、収蔵庫内の整理、収納棚等の増設等により、収蔵スペースを確保する。

平成21年度から整備を進めている。

○非常勤職員の雇用

博物館の収蔵スペース確保事業を進めるため、蔵書点検・リスト整理等を行う。

（緊急雇用創出事業を活用） 雇用創出人数 2人

<見直し・改善>

進行状況を確認しながら、事業完了に向けて作業等を進めている。

【全体計画】

基本方針	平成21年度	平成22年度	平成23年度
<その1> ・資料・機材の館外保管の促進	資料・機材の移送 旧鳥取農業高等学校 農産園芸実習棟改修 (営繕費)	資料・機材の移送	
<その2> ・収蔵庫内の整理、収納棚等の増設		古文書書庫内の整理・再配置 閲覧室の図書棚の増設・資料再配置	資料収納庫等の増設・資料再配置 荷解場に保管棚を新設
<その3> ・図書室蔵書の整理、書架の増設		蔵書整理	書架増設・図書再配置

【平成23年度実施内容】

項目	概要
古文書書庫の整理	・棚に平積み中の古文書を文書専用箱に入れて収蔵、整理、再配
自然資料収納庫の購入	・昆虫資料保管用の収納庫を購入し資料を収納
資材保管棚と図書棚を新設	・荷解場に資材等を保管する棚を新設、整理 ・自然研究室前に図書棚を新設、再配架
蔵書点検・リスト整理	・再配置のための蔵書の点検、リストの作成

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
 6項 社会教育費
 4目 博物館費

博物館(0857-26-8042)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館交流事業	1,814	1,176	638				1,814	
トータルコスト	4,210千円(前年度:2,790千円)[正職員:0.3人]							
主な業務内容	訪問、受入、資料交換、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	来館者の施設・サービスに対する満足度の向上							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>中国、韓国、ロシアの博物館(河北省博物館、国立春川博物館、アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館)との交流や情報交換等を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>鳥取県の国際交流事業にあわせ、中国河北省博物館、韓国江原道国立春川博物館、ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との交流を維持し、国際交流の進展を図る。</p>								
交流館		内容						
中国河北省博物館		○河北省博物館で「鳥取県の文化財」を紹介するパネル展を開催予定 ○河北省博物館からの来館を受け、今後の交流について意見交換等を行う [平成10年6月 友好交流館として協定締結]						
韓国江原道国立春川博物館		○春川博物館を訪問し、博物館活動に関する情報交換、意見交換、施設視察等を行う。 [平成22年12月 友好交流及び協力に関する協定締結]						
ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館		○ロシア沿海地方文化デイズ(9月上旬)を当館で開催予定 ・ロシア沿海地方の文化を紹介する展示会、ワークショップ、記念フォーラム等を開催 [平成22年9月 友好交流及び協力に関する協定締結]						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

博物館（0857-26-8042）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館資料の整理 ・電子化等事業	(7,176)	(7,116)	(60)			(7,176)		
事業内容の説明				※商工労働部の緊急雇用創出事業で一括計上				
<p>県民が博物館の収蔵資料等をより利用しやすくするため、資料の整理、電子化を進める作業を補助する職員を雇用する。</p> <p>・雇用創出人数 8人</p>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7922)

4目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (基金繰入金)	一般財源	
競技力向上対策事業費	163,029	152,709	10,320			2,000	161,029	

トータルコスト 165,425千円 (前年度172,879千円) [正職員: 0.3人]

主な業務内容 委託契約、確定検査

工程表の政策目標(指標) 競技力の一指標となる国体成績の向上 (競技得点350点以上、総合成績30位台の定着)

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県スポーツの競技力向上を図るとともに、スポーツ活動を通して県民に夢と感動を与える優秀な競技者を育成するため、競技団体等が実施する各種強化事業に対して助成する。

2 事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	事業概要
ジュニア強化	アドバイザーコーチ招へい事業	61,713 国内の優秀コーチを招へいし、定期的な指導を受ける (11競技、13人)
	中学生選抜選手強化事業	優秀選手を選抜指定し、強化事業を実施する (20競技、314人程度)
	高等学校運動部指定強化事業	高校の優秀な運動部を指定し、強化合宿等を実施する (26校、69部)
	少年国体等選手指定強化事業	少年選手を指定し、国体等に向けて県内外で集中的な強化事業を実施する (30競技、343人程度)
	(新)ジュニア期一貫指導体制推進事業	再掲 (18,165) 一貫した理念や内容で組織的・計画的にジュニア期 (小中高) の一貫指導体制の確立を図る
特別	(新)特別指定競技国体強化事業	29,879 高い競技得点がねらえる有望な団体競技、過去に入賞が常連であった競技を指定し、集中的な強化事業を実施する (8競技、189人程度)
成年	成年国体等選手指定強化事業	24,231 成年選手を指定し、国体等に向けて県内外で集中的な強化事業を実施する (28競技、222人程度)
条件整備	安全管理対策事業	25,845 国体候補選手等のスポーツ安全保険料を補助
	医・科学サポート事業	筋力トレーニングを充実させるとともに、栄養指導等を含めたサポート体制を整えるために講習会等を実施する
	強化練習用消耗品等対策事業	強化練習や国体参加に必要な運搬費等 (ヨット、ボート、カヌー運搬費等)
	強化推進事業	競技団体との連絡・調整・指導等
	国体等強化備品整備事業	国体等強化備品整備及び廃棄委託料
	派遣職員人件費	21,361 県職員3名を財団法人鳥取県体育協会に派遣するために必要な経費
計	163,029	

3 これまでの取組状況・改善点

国体30位台への定着へ向けて、各競技で今後何点の上積みが必要になるか検証を行い、競技得点の高い団体競技及び過去に入賞が常連であった競技を特別に指定し、集中的に強化を行うこととしている。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線：7922)

4目 スポーツ振興費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)ジュニア期一貫指導体制推進事業	18,165	0	18,165				18,165	

トータルコスト 20,561千円 (前年度0千円) [正職員：0.3人]

主な業務内容 委託契約、確定検査

工程表の政策目標(指標) 競技力の一指標となる国体成績の向上 (競技得点350点以上、総合成績30位台の定着)

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県競技力向上のための基盤を整備するため、一貫した理念や内容で組織的・計画的にジュニア期(小中高)の一貫指導体制の確立を図るとともに、優秀なジュニア選手の発掘・育成・強化により本県の競技力向上を目指す。

2 事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	事業内容
競技者育成プログラム作成	640	一貫した指導体制の確立を図るため、各競技団体ごとに「競技者育成プログラム」を作成する。(32競技)
ジュニア指導者講習会	4,034	作成した競技者育成プログラムをもとに、指導者を対象とした講習会を開催する。(36競技)
カテゴリ別合同練習会	6,031	競技者育成プログラムをもとに、講習会を受講した指導者が年齢別合同練習会で指導を行い、一貫指導体制の定着とトップアスリートの発掘と育成・強化を図る。(40種目)
ジュニアクラブチーム等の育成・支援	4,000	小・中・高の一貫指導体制を整え、ジュニアの育成・強化を図るため、基盤となるクラブを支援する。(20クラブ)
指導者育成	2,812	若手指導者を全国トップレベルの指導実践(学校・チーム等)に派遣し研修させ指導力の強化を図る。(14競技)
高等教育機関との連携	648	鳥取大学及び鳥取短期大学の運動部を強化指定し、活動経費について助成を行うとともに、同大学と連携し、県内トップレベルの高校生を対象にメディカルサポート及び栄養サポートを実施する。
計	18,165	

3 これまでの取組状況・改善点

○これまでは各競技団体や組織、体育協会などがジュニアの育成に携わるも、組織的・計画的指導体制が未整備で、指導の成果がなかなか結果に結びついていなかった。

○昨年度、一部競技で実施した競技者育成プログラムの作成やこれに基づく指導が、ジュニア期の指導に当たる指導者の一貫した指導理念や指導内容の確立に成果をあげたため、これを全競技に拡大し、PDCAサイクルに基づく集中したジュニア強化を目指す。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7919)

4目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国体成年団体競技強化事業	2,792	4,515	△1,723				2,792	
トータルコスト	4,390千円 (前年度7,742千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	委託契約、確定検査							
工程表の政策目標(指標)	競技力の一指標となる国体成績の向上(競技得点350点以上、総合成績30位台の定着)							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>国体で高得点が得られる団体競技の競技力向上を図るため、県内で高い競技力を有する社会人クラブチームを中長期的な展望で支援し、国体で活躍できる優秀な選手の育成・強化を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>国体選手を多く輩出している県内社会人クラブチームに対して選手強化に必要な活動費を助成する。</p> <p>(1) 指定条件</p> <p>過去3年間の国体ブロック及び本国体の成績で、ブロック突破又は本国体ベスト16の団体競技</p> <p>(2) 補助対象経費</p> <p>遠征に必要な経費(補助率: 定額)</p> <p>(3) 対象クラブ</p> <p>4クラブ</p> <p>〔 SCとっとりドリームス(サッカー: 成年男子) 三洋CE(軟式野球: 成年男子) 三洋CE(バドミントン: 成年男女) 鳥取クラブ(アイスホッケー: 成年男子) 〕</p>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線：7527)

1目 保健体育総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
児童生徒の感染症等疾患対策事業	357	276	81				357																
トータルコスト	6,747千円 (前年度4,310千円) [正職員：0.8人]																						
主な業務内容	研修会の開催、マニュアルの啓発																						
工程表の政策目標(指標)	-																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>新型インフルエンザや結核、麻しん等各種感染症や喘息、アトピー性皮膚炎等のアレルギー疾患等、児童生徒の現代的健康課題が多様化・深刻化の傾向にあるため、これらの適切な対応を図り、もって学校保健の取り組みを推進する。</p>																							
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型インフルエンザ等感染症対策研修会</td> <td>171</td> <td>新型インフルエンザ等の感染対策について、学校内での流行予防や発生した場合の迅速な対応、組織的な危機管理を行うための研修会を開催する。</td> </tr> <tr> <td>学校における児童生徒の疾患に対する研修会</td> <td>171</td> <td>今後、確実に増えていくことが予想されるアレルギーやアナフィラキシーショック等について、学校での適切な対応を行うための研修会を開催する。</td> </tr> <tr> <td>鳥取県学校結核対策委員会</td> <td>15</td> <td>学校における結核対策の実施状況や結果を把握し、精密検査対象の児童生徒の管理について検討を行う。 また、関係機関や地域の機関と連携し、学校の結核管理方針を検討する。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>357</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	新型インフルエンザ等感染症対策研修会	171	新型インフルエンザ等の感染対策について、学校内での流行予防や発生した場合の迅速な対応、組織的な危機管理を行うための研修会を開催する。	学校における児童生徒の疾患に対する研修会	171	今後、確実に増えていくことが予想されるアレルギーやアナフィラキシーショック等について、学校での適切な対応を行うための研修会を開催する。	鳥取県学校結核対策委員会	15	学校における結核対策の実施状況や結果を把握し、精密検査対象の児童生徒の管理について検討を行う。 また、関係機関や地域の機関と連携し、学校の結核管理方針を検討する。	計	357	
区分	予算額	事業内容																					
新型インフルエンザ等感染症対策研修会	171	新型インフルエンザ等の感染対策について、学校内での流行予防や発生した場合の迅速な対応、組織的な危機管理を行うための研修会を開催する。																					
学校における児童生徒の疾患に対する研修会	171	今後、確実に増えていくことが予想されるアレルギーやアナフィラキシーショック等について、学校での適切な対応を行うための研修会を開催する。																					
鳥取県学校結核対策委員会	15	学校における結核対策の実施状況や結果を把握し、精密検査対象の児童生徒の管理について検討を行う。 また、関係機関や地域の機関と連携し、学校の結核管理方針を検討する。																					
計	357																						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7527)

1目 保健体育総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																					
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																						
心や性等の健康問題対策事業	4,037	7,371	△3,334	1,309			2,728																						
トータルコスト	20,013千円 (前年度29,155千円) [正職員: 2.0人]																												
主な業務内容	協議会・研修会の開催、各学校との調整、謝金等の支払																												
工程表の政策目標(指標)	校内性教育推進委員会(各校種)の設置率(100%)																												
事業内容の説明																													
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>児童生徒を取り巻く心や性等の健康課題に対応するため、専門家の派遣や研修会を開催し、学校における健康教育の充実を図る。</p>																													
<p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心や性の健康問題対策事業協議会</td> <td>201</td> <td>本県における児童生徒の心や性等の健康問題についての課題解決に向けて、具体的な対策を協議する。</td> </tr> <tr> <td>性教育・エイズ教育研修会</td> <td>171</td> <td>性教育・エイズ教育に関する専門的な研修を行い、学校の組織的かつ体系的な指導体制の充実や教職員の指導力向上を図る。</td> </tr> <tr> <td>性教育指導実践研修会</td> <td>308</td> <td>学校における性教育の充実を図るため、授業公開及び授業研究会をとおして、教職員の性教育指導力の向上を図る。</td> </tr> <tr> <td>学校への専門家派遣事業</td> <td>2,736</td> <td>心や性に関する健康問題に対して、専門家を学校へ派遣し、児童生徒の心身の健康問題への対応、支援を行い、学校での性教育の充実を図る。 ・ 県立学校: 31校(各3回)、3校(各10回) ・ 市町村立中学校: 60校(各3回) 心や性に関する専門家派遣事業補助金 (県1/2、市町村1/2)</td> </tr> <tr> <td>スクールヘルスリーダー派遣事業</td> <td>621</td> <td>経験の浅い養護教諭に対して、退職養護教諭を派遣し、子どもたちが抱える現代的健康課題に適切に対処できるよう、指導助言を行う。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,037</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	心や性の健康問題対策事業協議会	201	本県における児童生徒の心や性等の健康問題についての課題解決に向けて、具体的な対策を協議する。	性教育・エイズ教育研修会	171	性教育・エイズ教育に関する専門的な研修を行い、学校の組織的かつ体系的な指導体制の充実や教職員の指導力向上を図る。	性教育指導実践研修会	308	学校における性教育の充実を図るため、授業公開及び授業研究会をとおして、教職員の性教育指導力の向上を図る。	学校への専門家派遣事業	2,736	心や性に関する健康問題に対して、専門家を学校へ派遣し、児童生徒の心身の健康問題への対応、支援を行い、学校での性教育の充実を図る。 ・ 県立学校: 31校(各3回)、3校(各10回) ・ 市町村立中学校: 60校(各3回) 心や性に関する専門家派遣事業補助金 (県1/2、市町村1/2)	スクールヘルスリーダー派遣事業	621	経験の浅い養護教諭に対して、退職養護教諭を派遣し、子どもたちが抱える現代的健康課題に適切に対処できるよう、指導助言を行う。	計	4,037	
区分	予算額	事業内容																											
心や性の健康問題対策事業協議会	201	本県における児童生徒の心や性等の健康問題についての課題解決に向けて、具体的な対策を協議する。																											
性教育・エイズ教育研修会	171	性教育・エイズ教育に関する専門的な研修を行い、学校の組織的かつ体系的な指導体制の充実や教職員の指導力向上を図る。																											
性教育指導実践研修会	308	学校における性教育の充実を図るため、授業公開及び授業研究会をとおして、教職員の性教育指導力の向上を図る。																											
学校への専門家派遣事業	2,736	心や性に関する健康問題に対して、専門家を学校へ派遣し、児童生徒の心身の健康問題への対応、支援を行い、学校での性教育の充実を図る。 ・ 県立学校: 31校(各3回)、3校(各10回) ・ 市町村立中学校: 60校(各3回) 心や性に関する専門家派遣事業補助金 (県1/2、市町村1/2)																											
スクールヘルスリーダー派遣事業	621	経験の浅い養護教諭に対して、退職養護教諭を派遣し、子どもたちが抱える現代的健康課題に適切に対処できるよう、指導助言を行う。																											
計	4,037																												

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線：7527)

1目 保健体育総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源																
学校安全対策事業	2,225	1,365	860	1,056			1,169																
トータルコスト	7,018千円 (前年度3,785千円) [正職員：0.6人]																						
主な業務内容	国・市町村との調整、講習会・研修会の開催、謝金等の支払																						
工程表の政策目標(指標)	学校地域安全マップ(小学校)の作成率(100%)																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>近年、学校の管理下における事件・事故が大きな問題となっていることや、各地でおこる地震等の災害や交通事故などの課題に対応し、子どもたちが安全に生活するための学校や地域の安全教育・安全管理の充実を図る。</p>																							
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額</th> <th>事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校安全ボランティア(スクールガード)講習会 (国1/3、県2/3)</td> <td>153</td> <td>各学校において巡回・警備等に従事する学校安全ボランティア(スクールガード)を養成するための講習会を開催する。</td> </tr> <tr> <td>地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金 (国、県、市町村 各1/3)</td> <td>2,010</td> <td>市町村が行うスクールガードリーダー(地域学校安全指導員)の配置や子どもの見守り活動の推進に要する経費に対して補助を行う。</td> </tr> <tr> <td>学校安全研修会 (単県)</td> <td>62</td> <td>災害時の危機管理や学校における安全教育・安全管理の充実と教職員の安全意識の高揚を図るため、学校安全担当教職員を対象とした研修会を開催する。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,225</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	事 業 内 容	学校安全ボランティア(スクールガード)講習会 (国1/3、県2/3)	153	各学校において巡回・警備等に従事する学校安全ボランティア(スクールガード)を養成するための講習会を開催する。	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金 (国、県、市町村 各1/3)	2,010	市町村が行うスクールガードリーダー(地域学校安全指導員)の配置や子どもの見守り活動の推進に要する経費に対して補助を行う。	学校安全研修会 (単県)	62	災害時の危機管理や学校における安全教育・安全管理の充実と教職員の安全意識の高揚を図るため、学校安全担当教職員を対象とした研修会を開催する。	計	2,225	
区 分	予算額	事 業 内 容																					
学校安全ボランティア(スクールガード)講習会 (国1/3、県2/3)	153	各学校において巡回・警備等に従事する学校安全ボランティア(スクールガード)を養成するための講習会を開催する。																					
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金 (国、県、市町村 各1/3)	2,010	市町村が行うスクールガードリーダー(地域学校安全指導員)の配置や子どもの見守り活動の推進に要する経費に対して補助を行う。																					
学校安全研修会 (単県)	62	災害時の危機管理や学校における安全教育・安全管理の充実と教職員の安全意識の高揚を図るため、学校安全担当教職員を対象とした研修会を開催する。																					
計	2,225																						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課（内線：7528）

1目 保健体育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
学校保健教育指導費	113,056	108,670	4,386	30		78,163	34,863	
トータルコスト	128,233千円（前年度122,386千円）[正職員：1.9人]							
主な業務内容	健康診断手数料等の令達、日本スポーツ振興センター・各学校との調整							
工程表の政策目標(指標)	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県立学校の児童生徒の健康の保持増進を図るため健康診断等を実施するとともに、学校管理下における児童生徒の災害に対する医療費等の災害共済給付金の支給を行う。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
災害共済給付事務	85,139	県立学校管理下における児童生徒の災害に対して医療費給付等を行う。
鳥取県学校保健会補助金	350	県内の学校保健の向上・発展に寄与する県学校保健会の活動を支援する。
(臨)第56回中国地区学校保健研究協議大会開催費補助金	300	平成23年度に本県で開催される中国地区学校保健研究協議大会の経費の一部を助成する。
要保護、準要保護児童生徒医療費	150	学校保健安全法に基づき要保護、準要保護児童生徒の疾病の治療のために要した医療費について援助する。
県立学校児童生徒健康診断手数料等	27,117	県立学校が実施する児童生徒の健康診断に要する経費。
計	113,056	

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7528)

1目 保健体育総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
学校給食用食材地産地消推進事業	(4,538) 657	(16,694) 12,813	(△12,156) △12,156			(3,881)	(657) 657	
トータルコスト	7,047千円 (前年度18,461千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	市町村、関係課との調整、会議の開催、委託契約							
工程表の政策目標(指標)	学校給食県内産食材使用率 (60%)							

※上段()内の数値は商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額
事業内容の説明

1 事業の目的・概要

学校給食における地産地消を推進し、子どもたちに安全安心な食の提供や地域の食文化を伝えることにより、郷土を大切に作る心や感謝の心を育む。

2 事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	事業内容
地産地消推進会議	27	県内産食材活用推進のための方策について解決策の検討、研究などを行う。 ・学校給食会、調理場、流通(JA)、栄養教諭等
栄養教諭・学校栄養職員との意見交換会	10	献立作成や調理の現場を指揮する栄養教諭・学校栄養職員と意見交換を行う。
安全安心のための学校給食調理師研修会	310	地場産物を活用する際の工夫等について研修を実施。 委託先: 県学校給食会 対象: 学校給食調理場の調理員等 内容: 不揃いな規格の食材処理の工夫と効率化 土の付着した食材の処理上の注意
地場産物を活用した学校給食献立調理講習会	310	地域食材を活用した新メニューの調理講習会を実施。 委託先: 県学校給食会 対象: 栄養教諭、学校栄養職員等 内容: 旬食材の活用方法 新メニュー開発と調理方法 ※取扱食材とメニュー例 <長芋、大根、椎茸、白葱、柿、アジ、鶏肉など> 地鶏の長芋ソースがけ、柿なますなど
非常勤職員の雇用(学校給食県内産食材活用促進委託事業)	(3,881)	学校給食における県内産食材の利用促進を図るため、県学校給食会にコーディネーターを配置し、解決方法を検討、県内産食材の使用率が低い市町村に働きかけなどを行う。 (ふるさと雇用再生特別交付金事業を活用) 雇用創出人数 1人
計	657	

3 県内産食材使用率の推移

平成13年度から連続して伸びてきた県内産食材の使用率が、平成21年度には57%となり、平成22年度には目標の60%を達成する見込みである。

H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
37%	41%	47%	49%	50%	53%	54%	54%	57%

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課（内線：7528）

1目 保健体育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
学校における食育推進事業	3,141	3,235	△94	2,615			526																
トータルコスト	7,934千円（前年度11,303千円）[正職員：0.6人]																						
主な業務内容	国・市町村との調整、委託契約、謝金の支払																						
工程表の政策目標(指標)	朝食喫食率（100%）、食に関する指導年間計画（各学校）の作成率（100%）																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>児童生徒への食に関する指導を充実させることにより、学校における食育を推進し、子どもたちの心身の健全な発達と食をとおして生きる力を育む。</p>																							
<p>2 事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指導用教材、保護者啓発資料の作成</td> <td>406</td> <td>学校栄養士協議会へ委託し、指導用教材を作成する。</td> </tr> <tr> <td>栄養教諭を中核とした食育推進事業</td> <td>2,615</td> <td>モデル地域（栄養教諭配置市町）を指定して、食育を推進するとともに、児童生徒の食生活について検討する。</td> </tr> <tr> <td>食育講演会等講師派遣事業</td> <td>120</td> <td>県立学校における食育講演会、勤労体験学習、調理実習等に講師を派遣し、食育の推進を図る。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,141</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	指導用教材、保護者啓発資料の作成	406	学校栄養士協議会へ委託し、指導用教材を作成する。	栄養教諭を中核とした食育推進事業	2,615	モデル地域（栄養教諭配置市町）を指定して、食育を推進するとともに、児童生徒の食生活について検討する。	食育講演会等講師派遣事業	120	県立学校における食育講演会、勤労体験学習、調理実習等に講師を派遣し、食育の推進を図る。	計	3,141	
区分	予算額	事業内容																					
指導用教材、保護者啓発資料の作成	406	学校栄養士協議会へ委託し、指導用教材を作成する。																					
栄養教諭を中核とした食育推進事業	2,615	モデル地域（栄養教諭配置市町）を指定して、食育を推進するとともに、児童生徒の食生活について検討する。																					
食育講演会等講師派遣事業	120	県立学校における食育講演会、勤労体験学習、調理実習等に講師を派遣し、食育の推進を図る。																					
計	3,141																						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7528)

1目 保健体育総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源																
学校給食指導費	1,122	4,166	△3,044				1,122																
トータルコスト	6,714千円 (前年度9,007千円) [正職員: 0.7人]																						
主な業務内容	市町村との調整、研修会の開催、謝金等の支払																						
工程表の政策目標(指標)	-																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>学校給食における衛生管理の充実と食中毒防止に努めるため、衛生管理に関する指導や研修会等を開催するとともに、栄養教諭や学校栄養職員の資質向上や専門的な指導力の向上を図るための研修を実施する。</p>																							
<p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校給食指導</td> <td>850</td> <td>学校給食調理場や調理委託業者等の調理場に出向き、衛生管理の徹底が図られるよう指導するとともに研修会を開催する。</td> </tr> <tr> <td>栄養教諭・学校栄養職員研修</td> <td>272</td> <td>栄養教諭・学校栄養職員の資質向上や専門的指導力の向上を図るため研修を実施する。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,122</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	事業内容	学校給食指導	850	学校給食調理場や調理委託業者等の調理場に出向き、衛生管理の徹底が図られるよう指導するとともに研修会を開催する。	栄養教諭・学校栄養職員研修	272	栄養教諭・学校栄養職員の資質向上や専門的指導力の向上を図るため研修を実施する。	計	1,122				
区 分	予算額	事業内容																					
学校給食指導	850	学校給食調理場や調理委託業者等の調理場に出向き、衛生管理の徹底が図られるよう指導するとともに研修会を開催する。																					
栄養教諭・学校栄養職員研修	272	栄養教諭・学校栄養職員の資質向上や専門的指導力の向上を図るため研修を実施する。																					
計	1,122																						
県立学校給食費	78,468	79,841	△1,373				78,468																
トータルコスト	96,840千円 (前年度99,204千円) [正職員: 2.3人]																						
主な業務内容	各県立学校との調整、委託契約、経費の令達・支払																						
工程表の政策目標(指標)	-																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県立学校の学校給食運営を行う。</p>																							
<p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夜間定時制高校</td> <td>1,144</td> <td>鳥取緑風、倉吉東、米子東高校の定時制生徒の夜食費</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>65,321</td> <td>鳥取盲、鳥取聾、鳥取養護、白兔養護、倉吉養護、皆生養護、米子養護学校の学校給食実施に係る経費</td> </tr> <tr> <td>その他の経費</td> <td>12,003</td> <td>衛生検査手数料、光熱水費等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78,468</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	事業内容	夜間定時制高校	1,144	鳥取緑風、倉吉東、米子東高校の定時制生徒の夜食費	特別支援学校	65,321	鳥取盲、鳥取聾、鳥取養護、白兔養護、倉吉養護、皆生養護、米子養護学校の学校給食実施に係る経費	その他の経費	12,003	衛生検査手数料、光熱水費等	計	78,468	
区 分	予算額	事業内容																					
夜間定時制高校	1,144	鳥取緑風、倉吉東、米子東高校の定時制生徒の夜食費																					
特別支援学校	65,321	鳥取盲、鳥取聾、鳥取養護、白兔養護、倉吉養護、皆生養護、米子養護学校の学校給食実施に係る経費																					
その他の経費	12,003	衛生検査手数料、光熱水費等																					
計	78,468																						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線：7922)

2目 学校体育振興費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
芝生でいきいきとっとりっ子事業 (学校のグラウンド芝生化の効果検証事業)	2,105	2,746	△641				2,105																
トータルコスト	4,501千円 (前年度6,780千円) [正職員：0.3人]																						
主な業務内容	市町村、学校等関係機関との調整、委託契約																						
工程表の政策目標 (指標)	体力調査結果を親世代 (S53～S57) に近づける																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>グラウンドの芝生化が児童生徒の体力や健康にもたらす効果について調査研究するとともに、芝生化したグラウンドを活用した教育活動や地域活動について実践研究し、普及啓発に生かす。</p>																							
<p>2 事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連絡協議会の設置</td> <td>205</td> <td>・調査研究に関する共通理解等 ・調査結果の分析・まとめ</td> </tr> <tr> <td>効果の調査・分析</td> <td>1,300</td> <td>・専門機関への調査分析委託 (委託先：鳥取大学)</td> </tr> <tr> <td>協力小学校による調査研究協力・活用実践</td> <td>600</td> <td>・協力校2校 (調査費300千円/校) 琴浦町立東伯小学校、八頭町立郡家東小学校 ・グラウンドの芝生化が児童の体力や健康にもたらす効果についての調査協力・調査実施 ・芝生のグラウンドを活用した教育活動や地域活動の実践</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,105</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	連絡協議会の設置	205	・調査研究に関する共通理解等 ・調査結果の分析・まとめ	効果の調査・分析	1,300	・専門機関への調査分析委託 (委託先：鳥取大学)	協力小学校による調査研究協力・活用実践	600	・協力校2校 (調査費300千円/校) 琴浦町立東伯小学校、八頭町立郡家東小学校 ・グラウンドの芝生化が児童の体力や健康にもたらす効果についての調査協力・調査実施 ・芝生のグラウンドを活用した教育活動や地域活動の実践	計	2,105	
区分	予算額	事業内容																					
連絡協議会の設置	205	・調査研究に関する共通理解等 ・調査結果の分析・まとめ																					
効果の調査・分析	1,300	・専門機関への調査分析委託 (委託先：鳥取大学)																					
協力小学校による調査研究協力・活用実践	600	・協力校2校 (調査費300千円/校) 琴浦町立東伯小学校、八頭町立郡家東小学校 ・グラウンドの芝生化が児童の体力や健康にもたらす効果についての調査協力・調査実施 ・芝生のグラウンドを活用した教育活動や地域活動の実践																					
計	2,105																						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線：7922)

2目 学校体育振興費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
学校体育充実事業	2,543	2,367	176				2,543	
トータルコスト	8,933千円 (前年度9,628千円) [正職員：0.8人]							
主な業務内容	講習会の開催、学校訪問							
工程表の政策目標(指標)	教員の指導力向上							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>体育・保健体育科における新学習指導要領に沿った学習の円滑な実施に向け、新学習指導要領の趣旨・内容の周知や体育担当教員の指導力向上に取り組み、体育・保健体育学習の充実を図る。</p>								
2 事業内容 (単位：千円)								
区分	予算額	事業内容						
学校体育指導者講習会	256	内容：講演会・実技講習会 対象：小・中・高等学校等の体育・保健体育担当教員 日数：1日を2回実施						
「武道・ダンス」実技講習会	213	内容：講演会・実技講習会 対象：中学校保健体育担当教員 日数：1日を2回実施 ※H24年度中学校の「武道・ダンス必修化」への円滑な実施を図るために、H21～23年度の3年間で全ての中学校保健体育教員が受講することとしている。(H23年度は3年目で最終年)						
学校訪問指導及び各種会議、中央研修会等への派遣	2,074	<ul style="list-style-type: none"> ・本省ブロック会議出席旅費 ・中央講習会等派遣旅費 ・全国学校体育研究大会派遣費 ・学校体育運営指導旅費 						
計	2,543							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7922)

2目 学校体育振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
児童生徒の体力向上事業	2,508	618	1,890	2,473			35																
トータルコスト	6,502千円 (前年度9,493千円) [正職員: 0.5人]																						
主な業務内容	国・関係機関との調整、委員会の開催、調査集計・分析、委託契約																						
工程表の政策目標(指標)	体力調査結果を親世代(S53~S57)に近づける																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県の児童生徒の体力・運動能力は、昭和60年頃をピークに低下傾向が続いている。体力は活力の源であり、知・徳・体のバランスのとれた「たくましい鳥取の子」を育成するために、引き続き児童生徒の体力向上に取り組む。</p>																							
<p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(新)放課後子どもの運動遊び推進事業</td> <td>1,115</td> <td>県内5校をモデルとして(市町村再委託)放課後等に子どもの運動遊びの指導を行う活動(謝金、運営費、用具費等)対して支援を行うことで、運動機会を提供し、運動実施時間の増加と運動習慣の定着を図るとともに、各市町村の取り組みに生かす。</td> </tr> <tr> <td>体力テスト検討委員会</td> <td>363</td> <td>・全国体力・運動能力、運動習慣等調査(全国調査)及び新体力テスト(県内調査)の調査、分析 ・分析結果に基づいた体力向上支援策の検討 ・体力向上支援策の現場への提供、HPへの掲載、報告書の作成、講習会等での紹介</td> </tr> <tr> <td>(新)運動遊びチャレンジランキング</td> <td>1,030</td> <td>子どもの体力向上につながる各種の運動(遊び)にグループ単位でチャレンジし、参加校の結果をランキング化することで励みを持たせるとともに運動機会を提供し、学校ぐるみの運動(遊び)への取組を推進する。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,508</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	(新)放課後子どもの運動遊び推進事業	1,115	県内5校をモデルとして(市町村再委託)放課後等に子どもの運動遊びの指導を行う活動(謝金、運営費、用具費等)対して支援を行うことで、運動機会を提供し、運動実施時間の増加と運動習慣の定着を図るとともに、各市町村の取り組みに生かす。	体力テスト検討委員会	363	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査(全国調査)及び新体力テスト(県内調査)の調査、分析 ・分析結果に基づいた体力向上支援策の検討 ・体力向上支援策の現場への提供、HPへの掲載、報告書の作成、講習会等での紹介	(新)運動遊びチャレンジランキング	1,030	子どもの体力向上につながる各種の運動(遊び)にグループ単位でチャレンジし、参加校の結果をランキング化することで励みを持たせるとともに運動機会を提供し、学校ぐるみの運動(遊び)への取組を推進する。	計	2,508	
区分	予算額	事業内容																					
(新)放課後子どもの運動遊び推進事業	1,115	県内5校をモデルとして(市町村再委託)放課後等に子どもの運動遊びの指導を行う活動(謝金、運営費、用具費等)対して支援を行うことで、運動機会を提供し、運動実施時間の増加と運動習慣の定着を図るとともに、各市町村の取り組みに生かす。																					
体力テスト検討委員会	363	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査(全国調査)及び新体力テスト(県内調査)の調査、分析 ・分析結果に基づいた体力向上支援策の検討 ・体力向上支援策の現場への提供、HPへの掲載、報告書の作成、講習会等での紹介																					
(新)運動遊びチャレンジランキング	1,030	子どもの体力向上につながる各種の運動(遊び)にグループ単位でチャレンジし、参加校の結果をランキング化することで励みを持たせるとともに運動機会を提供し、学校ぐるみの運動(遊び)への取組を推進する。																					
計	2,508																						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7923)

2目 学校体育振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他 (基金入金)	一般財源	
運動部活動推進事業	22,171	23,870	△1,699	6,282		3,000	12,889	
トータルコスト	30,159千円 (前年度31,131千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	国・市町村との調整、委託契約、補助金交付、研修会の開催、謝金等の支払							
工程表の政策目標(指標)	教員の指導力向上							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>中学校及び県立学校の運動部活動に地域のスポーツ指導者を招へいし、教員の負担軽減や指導体制の充実を図るとともに、研修会を開催して運動部活動に関わる指導者の資質向上を目指す。</p>								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区 分	予算額	事 業 内 容						
外部指導者活用事業	19,444	<p>専門的指導力を有する顧問がない場合やより高い専門的指導を必要とする運動部に対して、地域で活動する有能な人材を外部指導者として派遣し、運動部活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立学校等 (89部) に派遣 ・ 市町村 (60部) に委託 ・ 県立学校の外部指導者に全国大会への旅費を支給 ・ スポーツ安全保険への加入 						
外部指導者等研修事業	186	<p>成長期にある生徒の発育発達段階に応じた指導法に関する研修を実施し、運動部活動に関わる指導者の資質向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内3カ所で開催 (合計3回) 						
(新)外部指導者補助事業	2,541	<p>市町村が独自に市町村立学校に外部指導者を配置する場合、その経費の1/2を補助する。 (対象経費) 謝金、保険料、研修会旅費</p>						
計	22,171							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7922)

2目 学校体育振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
学校関係体育大会推進費	48,659	61,331	△12,672				48,659	

トータルコスト 50,257千円 (前年度63,751千円) [正職員: 0.2人]

主な業務内容 申請書の審査、補助金交付、確定検査

工程表の政策目標(指標) -

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

各種学校体育連盟が主催する全県規模の大会の開催費や中国・全国レベルの学校関係体育大会に出場する場合の派遣費を補助する。

2 事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	事業内容
県小学校体育連盟	450	・ 県小学校運動記録会開催事業 (2種目)
県中学校体育連盟	2,420	・ 県中学校総合体育大会開催事業 (21種目) 400
		・ 中国ブロック中学校体育大会開催事業 (3種目) 420
		・ 中国・全国中学校体育大会派遣事業 (1,116人) 1,600
県高等学校体育連盟	45,789	・ 県高等学校総合体育大会開催事業 (34種目) 900
		・ 中国ブロック高等学校体育大会開催費 (9種目) 1,260
		・ 全国高等学校総合体育大会派遣事業 (819人) 43,629
計	48,659	

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線：7919)

3目 体育施設費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)体育施設改修費	15,354	0	15,354				15,354	
トータルコスト	17,750千円 (0千円) [正職員：0.3人]							
主な業務内容	関係機関・施設との調整・予算管理							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県立社会体育施設の維持、老朽化等に伴う改修を行い、スポーツ活動の拠点としてふさわしい環境の整備を図る。								
2 事業内容 (単位：千円)								
区分		予算額	内容					
県営米子屋内プール濾過装置入替工事		15,354	・委託料 950千円 ・工事請負費 14,404千円					
体育施設運営費	242,294	238,383	3,911			(諸収入) 12	242,282	
トータルコスト	245,489千円 (240,803千円) [正職員：0.4人、非常勤職員1.0人]							
主な業務内容	指定管理者との調整、委託料の支払							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
スポーツの振興を図るため、県立社会体育施設の管理運営を行う。								
2 事業内容 (単位：千円)								
区分		予算額	指定管理者					
管理運営委託費	鳥取産業体育館及び鳥取屋内プール	54,603	(財)鳥取県体育協会・(株)ジーコミュニケーションネットワーク共同企業体					
	倉吉体育文化会館	40,957	(財)鳥取県体育協会					
	米子産業体育館	25,162	(財)鳥取県体育協会					
	米子屋内プール	45,761	(財)鳥取県体育協会					
	武道館	66,152	(財)鳥取県体育協会					
	ライフル射撃場	445	鳥取県ライフル射撃協会					
	その他の経費	9,214						
計		242,294						

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7919)

4目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																																				
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																																					
財団法人鳥取県体育協会運営費補助金	97,696	86,486	11,210				97,696																																					
トータルコスト	99,294千円 (前年度88,100千円) [正職員: 0.2人]																																											
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査																																											
工程表の政策目標(指標)	-																																											
事業内容の説明																																												
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県民の体力の向上及びスポーツ精神の高揚に寄与することを目的とする県体育協会の円滑な運営に資するため、事務局職員の人件費及び事務費に対して助成する。</p>																																												
<p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th colspan="7">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>86,784</td> <td colspan="7"> 会長 963 事務局職員 42,744 (専務理事、事務局長等 8人) 体育指導員 43,077 (17人) </td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>10,912</td> <td colspan="7">事務局の運営に要する経費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>97,696</td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容							人件費	86,784	会長 963 事務局職員 42,744 (専務理事、事務局長等 8人) 体育指導員 43,077 (17人)							事務費	10,912	事務局の運営に要する経費							計	97,696							
区分	予算額	事業内容																																										
人件費	86,784	会長 963 事務局職員 42,744 (専務理事、事務局長等 8人) 体育指導員 43,077 (17人)																																										
事務費	10,912	事務局の運営に要する経費																																										
計	97,696																																											
倉吉自転車競技場運営費	4,649	16,943	△12,294				4,649																																					
トータルコスト	5,448千円 (前年度17,750千円) [正職員: 0.1人]																																											
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査																																											
工程表の政策目標(指標)	競技力の一指標となる国体成績の向上 (競技得点350点以上、総合成績30位台の定着)																																											
事業内容の説明																																												
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>財団法人鳥取県体育協会に対して、倉吉自転車競技場の管理運営に必要な経費を助成する。</p>																																												
<p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th colspan="7">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>倉吉自転車競技場管理運営費</td> <td>4,334</td> <td colspan="7">倉吉自転車競技場の管理について、財団法人鳥取県体育協会が特定非営利活動法人たかしろに管理委託しており、その経費の一部を補助する。</td> </tr> <tr> <td>財団法人鳥取県体育協会事務局費</td> <td>315</td> <td colspan="7">倉吉自転車競技場の管理のために必要となる財団法人鳥取県体育協会の事務局職員の旅費等経費の一部を補助する。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,649</td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容							倉吉自転車競技場管理運営費	4,334	倉吉自転車競技場の管理について、財団法人鳥取県体育協会が特定非営利活動法人たかしろに管理委託しており、その経費の一部を補助する。							財団法人鳥取県体育協会事務局費	315	倉吉自転車競技場の管理のために必要となる財団法人鳥取県体育協会の事務局職員の旅費等経費の一部を補助する。							計	4,649							
区分	予算額	事業内容																																										
倉吉自転車競技場管理運営費	4,334	倉吉自転車競技場の管理について、財団法人鳥取県体育協会が特定非営利活動法人たかしろに管理委託しており、その経費の一部を補助する。																																										
財団法人鳥取県体育協会事務局費	315	倉吉自転車競技場の管理のために必要となる財団法人鳥取県体育協会の事務局職員の旅費等経費の一部を補助する。																																										
計	4,649																																											

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線：7919)

4目 スポーツ振興費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業	20,172	20,272	△100				20,172	
トータルコスト	20,971千円 (前年度23,499千円) [正職員：0.1人]							
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査							
工程表の政策目標(指標)	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
スポーツを通して鳥取県の情報発信や地域おこしを行うため、本県で生まれ育った全国的な大会や全国的なチームに対して助成する。								
2 事業内容 (単位：千円)								
区分	予算額	補助率	事業概要					
第24回鳥取オープンインドアテニス選手権大会運営事業	1,270	定額	鳥取オープンインドアテニス選手権大会の運営費を助成					
第31回日本海駅伝競走大会運営事業	1,000	定額	日本海駅伝競走大会の運営費を助成					
J2アウェイゲーム遠征事業	15,000	県1/2	ガイナレ鳥取の県外アウェイゲーム遠征費の一部を助成					
ガイナレサッカースクール運営事業	2,902	県1/2	ガイナレ鳥取が運営するサッカースクールの運営費の一部を助成					
計	20,172							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7919)

4目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国民体育大会派遣費	107,556	116,925	△9,369				107,556	
トータルコスト	109,154千円 (前年度121,766千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	委託契約、確定検査							
工程表の政策目標(指標)	競技力の指標となる国体成績の向上 (競技得点350点以上、総合成績30位台の定着)							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
財団法人鳥取県体育協会に委託して、国民体育大会県予選会を開催するとともに、中国ブロック大会・国民体育大会へ選手を派遣する。								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	事業内容						
国民体育大会派遣費	107,556	<ul style="list-style-type: none"> 国民体育大会県予選会開催費 (40競技) 2,604 国民体育大会中国ブロック大会等派遣費 (827人) 33,900 国民体育大会派遣費 (699人) 71,052 						
日韓スポーツ交流事業	1,404	2,841	△1,437				1,404	
トータルコスト	2,203千円 (前年度3,648千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	申請書の審査・補助金交付・確定検査							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
平成13年11月6日に締結した鳥取県・江原道スポーツ交流協定に基づき、県体育協会と江原道体育会が行う青少年スポーツ交流事業に対して助成する。(平成23年度は本県が派遣)								
2 事業内容								
時期	平成23年11月～12月上旬予定							
人数	江原道40人、鳥取県40人 計80人							
交流競技	卓球、柔道							
補助率	県1/2							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線：7919)

4目 スポーツ振興費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
都道府県対抗駅伝強化費補助金	1,600	1,600	0				1,600	
トータルコスト	2,399千円 (前年度2,407千円) [正職員：0.1人]							
主な業務内容	申請書の審査・補助金交付・確定検査							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県民のスポーツへの関心、意欲を高めるとともに、鳥取県を全国に情報発信するため、多くの県民が注目する都道府県対抗駅伝に出場する鳥取県代表チームの選手強化費の一部を助成する。								
2 事業内容 (単位：千円)								
区分	予算額	事業内容						
都道府県対抗駅伝強化費補助金	1,600	中・高校生の本県代表選手を選考し、県内外での合宿及び県外大会への派遣に係る経費について補助。 ・事業実施主体：鳥取陸上競技協会 ・補助対象経費：旅費、役務費、使用賃借料						
鳥取県・江原道生涯スポーツ交流事業	4,106	4,106	0				4,106	
トータルコスト	12,094千円 (前年度8,140千円) [正職員：1.0人]							
主な業務内容	事前協議、韓国選手団の受入・随行							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
本県と韓国江原道の生涯スポーツ選手団を、鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭と江原道生活体育大会相互に受け入れ、国際理解の推進と本県生涯スポーツの振興を図る。								
2 事業内容 (単位：千円)								
区分	予算額	事業内容						
事前協議	273	韓国江原道生活体育協議会の職員が来鳥し、スポーツ交流について協議する。(平成23年6月)						
スポーツ交流	3,833	鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭に韓国選手団を受け入れる。(平成23年10月の5日間) ・受入人数37人(本部役員3、通訳1、種目役員3、選手30) ・競技数3種目						
計	4,106							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7921)

4目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツ・レクリエーション事業	15,124	14,486	638				15,124	
トータルコスト	23,112千円 (前年度27,395千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	申請書の審査・補助金交付・確定検査・競技団体との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	平成23年度に成人の運動・スポーツ実施率を60%以上に引き上げる							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県民スポーツ・レクリエーション大会を中心とした、本県の生涯スポーツの普及振興を図る事業を実施する。

2 事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	事業内容
全国スポーツ・レクリエーション祭派遣事業補助金	8,712	平成23年11月に栃木県で開催される全国スポーツ・レクリエーション祭に、代表選手を派遣する。 ・派遣人数 177人 ・補助対象 旅費、参加料、ユニフォーム助成
鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業負担金	5,525	・事業内容 38競技の運営・実施等 ・期 日 夏季大会 平成23年8月27日、28日 秋季大会 平成23年10月22日、23日 冬季大会 平成24年2月12日 ・負担対象 実行委員会費及び競技運営費
事務費	887	
計	15,124	

スポーツ指導員配置事業	11,426	14,881	△3,455			(諸収入)	55	11,371	
-------------	--------	--------	--------	--	--	-------	----	--------	--

トータルコスト 15,420千円 (前年度18,108千円) [正職員: 0.5人、非常勤職員: 4.0人]

主な業務内容 報酬等の支払、スポーツ教室等の企画・運営・指導

工程表の政策目標(指標) -

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

将来の鳥取県体育・スポーツの中核となり得る優秀な人材を確保し、スポーツの普及・振興及び本県の競技力向上を図る。

2 事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	事業内容
スポーツ指導員の配置	11,426	配置人数: 非常勤職員4名 業務内容: スポーツ教室等の企画・運営・指導やスポーツに関する相談

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7921)

4目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
生涯スポーツ推進費	1,401	1,290	111				1,401	
トータルコスト	6,993千円 (前年度8,551千円) [正職員: 0.7人]							
主な業務内容	協議会、講習会等の開催							
工程表の政策目標(指標)	平成23年度に成人の運動・スポーツ実施率を60%以上に引き上げる							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
生涯スポーツの振興を図るため、生涯スポーツに関する情報提供を行うとともに、生涯スポーツ推進協議会や小学生スポーツ指導者講習会等を開催する。								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	事業内容						
生涯スポーツ推進協議会費	237	鳥取県生涯スポーツ推進協議会の開催 ・委員数 30名 ・開催数 各2回 (協議会・専門委員会)						
生涯スポーツ活動推進費	720	生涯スポーツ推進のため、市町村等の助言、県民等への普及啓発等を行うとともに、鳥取県体育指導委員協議会が実施する研究大会等の経費の一部を助成する。						
小学生スポーツ指導者講習会	444	小学生のスポーツ活動の中から3~4種目の種目ごとの指導者講習会を行う。						
計	1,401							
競技スポーツ推進費	5,856	5,856	0				5,856	
トータルコスト	7,454千円 (前年度17,151千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	戦力分析、情報収集、国体入賞者の表彰							
工程表の政策目標(指標)	競技力の一指標となる国体成績の向上 (競技得点350点以上、総合成績30位台の定着)							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
本県選手の競技力に関する戦力分析・情報収集を行うとともに、国体や国際大会等の入賞者に対する知事表彰を行う。								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	事業内容						
競技力向上対策費	2,606	国体知事表彰、鳥取県スポーツ顕彰 競技団体との情報交換等						
国体等派遣選手指導費	3,250	国体での選手への指導や戦力分析、情報収集等						
計	5,856							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7921)

4目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツコミュニティ育成事業	1,294	1,294	0				1,294	
トータルコスト	5,288千円 (前年度4,521千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	委員会・研修会の開催、各市町村・スポーツ団体との調整、旅費等の支払							
工程表の政策目標(指標)	総合型地域スポーツクラブを平成23年度までに全市町村に配置。また平成28年度までに旧39市町村で設置							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
総合型地域スポーツクラブの育成・支援のための事業を実施する。								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	事業内容						
企画運営委員会の開催	69	総合型地域スポーツクラブの育成支援方針等の検討を行う。(年2回)						
研修会の開催	333	クラブマネージャー研修会を開催する。(年3回)						
事務費	892							
計	1,294							
(新)スポーツ施設子育て支援事業	5,931	0	5,931			(基金繰入金) 5,931		
トータルコスト	7,529千円 (前年度0千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	委託契約、確定検査							
工程表の政策目標(指標)	体力調査結果を親世代(S53~S57)に近づける							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
幼児期から運動(あそび)の楽しさを体験できる環境を提供することにより、親子の運動スポーツ実施率の向上を図るため、スポーツ施設における子育て支援事業を財団法人鳥取県体育協会に委託して実施する。								
2 事業内容 (単位: 千円)								
区分	予算額	事業内容						
親子ふれあい教室	107	地域の体育施設または保育園にて行われる親子を対象とした体操教室に講師を派遣する。(毎月2回)						
スポーツ施設における託児事業	5,824	県立スポーツ施設(4施設)に子育てや育児中の親が安心して運動やトレーニングができるよう託児所を設置する。(土日、平日2日×12ヶ月)						
計	5,931							

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7919)

2目 学校体育振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
【廃止】 運動部活動備品整備 事業	0	4,845	△4,845					
トータルコスト	0千円 (前年度5,652千円) [正職員: 0.0人]							
主な業務内容	県立学校との調整、備品購入費の令達、契約							
工程表の政策目標(指標)	教員の指導力の向上							
事業内容の説明								
(廃止の理由)								
<p>現行事業では、複数年の整備計画に基づき運動部活動備品を購入していたため、計画策定後に生じる備品の破損や新たなニーズによって整備計画に入っていない備品を適時に購入することが困難であった。</p> <p>運動部活動にも力を入れた学校の特色づくりのためにも柔軟な備品購入の対応が必要という県立学校の意見に基づき、運動部活動備品購入費について県立学校裁量予算の枠内対応とするため事業廃止する。</p>								
【廃止】 全国中学校体育大会 補助金	0	18,000	△18,000					
トータルコスト	0千円 (前年度20,420千円) [正職員: 0.0人]							
主な業務内容	実行委員会及び中体連との調整、申請書の審査、補助金交付、確定検査							
工程表の政策目標(指標)	体力調査結果を親世代の平均に近づける							
事業内容の説明								
(廃止の理由)								
平成22年度限りの臨時事業のため								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課 (内線: 7919)

4目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
【廃止】 第65回(第66回冬季大会)国民体育大会 中国ブロック大会開催事業	0	12,600	△12,600					
トータルコスト	0千円(前年度14,214千円)[正職員:0.0人]							
主な業務内容	協定の締結、関係団体との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	競技力の一指標となる国体成績の向上(競技得点300点以上、総合成績30位台の定着)							
事業内容の説明								
(廃止の理由) 平成22年度限りの臨時事業のため								
【廃止】 スポーツ国際交流員 招致事業	0	5,275	△5,275					
トータルコスト	0千円(前年度7,695千円)[正職員:0.0人]							
主な業務内容	報酬等の支払、競技指導							
工程表の政策目標(指標)	競技力の一指標となる国体成績の向上(競技得点300点以上、総合成績30位台の定着)							
事業内容の説明								
(廃止の理由) 招致していたスポーツ国際交流員の契約期間が平成22年5月終了した。後任のスポーツ国際交流員の招致については、競技団体の要望等を総合的に勘案した結果、招致しないこととしたため。								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

スポーツ健康教育課（内線：7919）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツ指導員配置事業	(11,668)	(11,800)	(△132)			(11,668)		
<p>事業内容の説明 ※商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業で一括計上</p> <p>競技力の向上を図るため、成績優秀な選手をスポーツ指導員として配置し、スポーツ教室を開催する等、ジュニア選手の育成等を行う業務を実施する。</p> <p>・雇用創出人数 4人</p>								
総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	(3,092)	(2,902)	(190)			(3,092)		
<p>事業内容の説明 ※商工労働部のふるさと雇用再生特別交付金事業で一括計上</p> <p>生涯スポーツを通じた健康づくりを推進するために、クラブアドバイザーを雇用し、「総合型地域スポーツクラブ」の創設育成を支援する。</p> <p>・雇用創出人数 1人</p>								

平成23年度一般会計当初予算説明資料

小中学校課 (7513)

特別支援教育課 (7514)

高等学校課 (7539)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
教員定数・非常勤講師の充実								
トータルコスト	—							
従事する職員数	—							
主な業務内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
様々な教育課題に応じた教員定数の拡充、非常勤講師等の配置を行う								
○教職員定数(標準法・法外定数・定数外)								
	校種	平成23年度	対前年度増減					
	小学校	2,641(31)人	△4人					
	中学校	1,466(12)人	6人					
	高等学校	1,399(37)人	△35人					
	特別支援学校	667(6)人	5人					
() は定数外で外数								
2 事業内容								
(1) 教員定数(主なもの)								
	区分	配置の目的				対前年度増減		
	小中学校における少人数学級等の実施(小中学校課)							
	小学校	引き続き実施 (95人→83人) 内訳：少人数学級 88人→77人 複式解消 7人→6人				△12人		
	中学校	引き続き実施 (71人→62人)				△9人		
	(新)「スクラム教育」推進教員(小中学校課)(高等学校課)	校種間連携による一貫性のある教育を実現し、「学力向上の推進」を図るため先進的な取組を実施する中学校区を指定し、取組の中心となる教員を配置する。 (小学校0人→2人) (中学校0人→6人) (高等学校0人→4人)				12人		
	発達障がい教育支援教員(特別支援教育課)	就学前幼児から高校生を含めた発達障がいへの専門的個別指導を行う「発達障がい教育拠点(通級指導教室)を、県立特別支援学校(3校)に設置し、教員を配置する。 (3人→3人)				—		
	高校教育改革関連教員(高等学校課)	・特色ある学科・コースの教育を充実させる ・総合選択制高校における特色ある教育課程を実施する ・鳥取緑風高校の教育水準を維持する ・米子白鳳高校の教育水準を維持する (33人→33人)				—		
	定数補充教員(高等学校課)	1学級を38人定員とすることにより不足する教員を定数補充教員として措置する。 (8人→5人)				△3人		

区 分	配 置 の 目 的	対前年度増減
専攻科教員 (高等学校課)	専攻科教育のための教員配置 (8人→ 8人)	—
教育相談員 (高等学校課)	「臨床心理士」資格を有する常勤の教育相談員(任期付)を各地区に配置し、高等学校生徒に対し教育相談を行うことにより、教育相談体制の充実を図る。 (3人→ 3人)	—
学校図書館司書 (高等学校課)	学校図書館の活用を図り、学習情報センターとしての役割を高めるため、常勤の図書館司書を配置する。(24人→24人)	—
学校技能主事 (高等学校課)	平成18年度から10年間を目途に、学校技能主事の人員を1校1名体制に移行。 (32人→31人)	△1人

(2) 非常勤講師等の配置 (主なもの)

区 分	配 置 の 目 的	対前年度増減
小学校 (小中学校課)	小学校外国語活動支援員 小学校5・6年生における外国語活動において、学級担任を補助し、ティームティーチングを進める英語の堪能な地域人材を支援員として配置する。(408人→220人)	△188人
中学校 (小中学校課)	美術非常勤講師 定数上、美術教員が配置できない学校に美術非常勤講師を配置する。 (5人→9人)	4人
中学校 (小中学校課)	いずみ分校、のぞみ分校非常勤講師 児童自立支援施設及び自閉症・情緒障がい児短期治療施設内に設置した分校で、きめ細やかな学習支援を行うため非常勤講師を配置する。 (0人→4人)	4人
小学校・中学校 (小中学校課)	特別支援学級支援非常勤講師 3以上の学年で構成されている特別支援学級で、児童生徒の障がいの実態に応じた学習の充実を図るために非常勤講師を配置する。(小学校70人→95人、中学校21人→28人) (91人→123人)	32人
小学校・中学校 (小中学校課)	指導方法工夫改善等非常勤講師 習熟度別少人数指導など、指導方法工夫改善の取組を行っている学校に非常勤講師を配置する。(小学校24人→24人、中学校12人→12人) (36人→36人)	—
小学校・中学校 (小中学校課)	小規模サポート非常勤講師 7学級以下の小規模小学校における学校運営の円滑化、児童のさらなる教育活動の充実を目的として非常勤講師を配置する。 (20人→20人)	—
中学校・高等学校・特別支援学校 (小中学校課) (高等学校課) (特別支援教育課)	スクールカウンセラー 不登校や問題行動などの改善を図るため、中学校・高等学校・特別支援学校に臨床心理士等をスクールカウンセラーとして配置する。 (中学校 60人→60人) (高等学校11人→11人) (特別支援学校 5人→5人) ※中学校・高等学校は、教育相談員を含めて全校配置	—
小学校・中学校 (小中学校課)	LD等特別支援非常勤講師(※) 特別な支援や配慮が必要な児童生徒が在籍し、学級経営等が困難な学級に非常勤講師を配置する。(小学校15人 中学校5人) (20人→20人)	—
高等学校 (高等学校課)	高校教育改革に伴う非常勤講師 総合学科における授業時間数増加及び数学・英語の学力向上に対応する非常勤講師を配置する。 (16人→16人)	—
高等学校 (高等学校課)	就職支援相談員 進路指導を充実するため、民間企業での豊富な経験を有する者を就職支援相談員(キャリアアドバイザー)として配置する。 (15人→17人)	2人

※注 LD : 学習障害

平成23年度 当初予算歳入歳出事項別明細書

(単位：千円)

款 項 目	10款 教育費		1項 教育総務費								
	節 別		1目	2目	3目	4目	5目	6目	7目	8目	9目
			教育委員会費	事務局費	教職員人事費	教育連絡調整費	教育振興費	教育財産管理費	育英奨学事業費	教育センター費	恩給及び退職年金費
1 報 酬	1,672,037	204,153	9,780	38,031	15,677	16,212	97,525	5,656	8,541	12,731	
2 給 料	27,106,097	470,589		470,589							
3 職 員 手 当 等	16,571,962	403,443		403,443							
4 共 済 費	10,279,692	193,166		172,781	1,971	987	14,047	856	1,293	1,231	
5 災 害 補 償 費											
6 恩 給 及 び 退 職 年 金	136,991	136,991									136,991
7 貸 金	36,786	5,589		5,484		10	95				
8 報 償 費	128,887	75,565		830	3,173	34,335	20,716	42	111	16,356	
9 旅 費	584,488	284,805	1,200	16,355	5,249	172,874	38,866	4,000	720	45,541	
費用弁償	19,067	12,356	1,200	1,366	734	1,450	6,975	200	60	371	
普通旅費	508,172	238,195		14,437	3,512	160,774	25,209	3,800	640	29,823	
特別旅費	57,249	34,254		552	1,003	10,650	6,682		20	15,347	
10 交 際 費	520	520	520								
11 需 用 費	1,079,600	675,594		27,578	7,622	592,581	11,223	6,809	1,130	28,651	
12 役 務 費	247,253	137,146		29,227	25,823	60,942	8,070	4,153	1,620	7,311	
13 委 託 料	2,768,841	735,945		68,472	13,778	40,009	123,638	455,339	14,004	20,705	
14 使用料及び賃借料	970,735	748,943	300	585,449	1,836	92,993	18,688	11,743	720	37,214	
15 工 事 請 負 費	3,615,856	2,682,279						2,598,508		83,771	
16 原 材 料 費	7,264										
17 公 有 財 産 購 入 費	286,482										
18 備 品 購 入 費	284,718	107,821		1,000	2,282	92,411	11,100			1,028	
19 負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	748,645	211,836	1,005	5	6,908	113,999	46,057	9,253	34,529	80	
20 扶 助 費	112,931	112,781					112,781				
21 貸 付 金	1,008	1,008							1,008		
22 補 償、補 填 及 び 賠 償 金	62,096										
23 償 還 金、利 子 及 び 割 引 料	84,518	84,518							84,518		
24 投 資 及 び 出 資 金											
25 積 立 金	10,780	10,780		10,000					780		
26 寄 付 金											
27 公 課 費	723	556					75	481			
28 繰 出 金	562,208	562,208							562,208		
予 備 費											
計	67,361,118	7,846,236	12,805	1,829,244	84,319	1,217,353	502,883	3,096,840	711,182	254,619	136,991
財 源											
内 庫 支 出 金	11,275,886	87,360		1,550		22,552	63,258				
地 方 債	1,667,000	1,667,000						1,667,000			
そ の 他	3,342,522	1,387,796		13,641	4,564	27,919	874	1,248,912	88,146	3,740	
一 般 財 源	51,075,710	4,704,080	12,805	1,814,053	79,755	1,166,882	438,751	180,928	623,036	250,879	136,991

平成23年度 当初予算歳入歳出事項別明細書

(単位：千円)

款 項 目	2項 小学校費		3項 中学校費		4項 高等学校費			5項 特殊学校費			
	1目 小学校費	1目 中学校費	1目 高等学校総 務費	2目 高等学校 管理費	3目 施設設備 整備費	1目 特別支援 学校管理 費	2目 特別支援学 校費				
節 別											
1 報 酬	373.869	373.869	249.769	249.769	342.945	342.945			132.663		132.663
2 給 料	11,233.507	11,233.507	6,161.274	6,161.274	5,922.695	5,922.695			2,709.875		2,709.875
3 職 員 手 当 等	6,962.965	6,962.965	3,587.371	3,587.371	3,742.431	3,742.431			1,560.819		1,560.819
4 共 済 費	4,265.299	4,265.299	2,320.834	2,320.834	2,239.060	2,239.060			1,020.720		1,020.720
5 災 害 補 償 費											
6 恩 給 及 び 退 職 年 金											
7 貸 金	3,048	3,048	2,386	2,386	16,432	16,101	331		4,974		4,974
8 報 償 費					74		74		8,361	6,538	1,823
9 旅 費	120,892	120,892	85,312	85,312	4,377	1,356	3,021		31,977	31,151	826
費用 弁 償	360	360	595	595	1,356	1,356			158	16	142
普 通 旅 費	120,532	120,532	84,717	84,717	3,005		3,005		30,552	30,552	
特 別 旅 費					16		16		1,267	583	684
10 交 際 費											
11 需 用 費					74,971		74,971		123,977	123,977	
12 役 務 費	3,672	3,672	2,284	2,284	11,425		11,425		12,394	12,394	
13 委 託 料					52,554	909	15,368	36,277	161,535	45,663	115,872
14 使用料及び賃借料					34,637		32,825	1,812	10,207	10,207	
15 工 事 請 負 費					268,739		67,818	200,921	284,008		284,008
16 原 材 料 費					7,264		7,264				
17 公 有 財 産 購 入 費											
18 備 品 購 入 費					49,543		2,697	46,846	17,937	17,937	
19 負担金、補助及び交付金					1,237		1,237		32,424		32,424
20 扶 助 費											
21 貸 付 金											
22 補償、補填及び賠償金											
23 償還金、利子及び割引料											
24 投資及び出資金											
25 積 立 金											
26 寄 付 金											
27 公 課 費											
28 繰 出 金											
予 備 費											
計	22,963,252	22,963,252	12,409,230	12,409,230	12,768,384	12,265,497	217,031	285,856	6,111,871	247,867	5,864,004
財 源											
国 庫 支 出 金	5,563,023	5,563,023	3,066,161	3,066,161	1,296,089	1,296,089			768,375	500	767,875
地 方 債											
内 其 他	4,674	4,674	13,901	13,901	120,782	64,329	56,453		327,589	2,718	324,871
一 般 財 源	17,395,555	17,395,555	9,329,168	9,329,168	11,351,513	10,905,079	160,578	285,856	5,015,907	244,649	4,771,258

款項目 節別	6項 社会教育費								7項 保健体育費				
	1目 社会教育 総務費	2目 文化財保 護費	3目 図書館費	4目 博物館費	5目 青少年社 会教育施 設費	6目 埋蔵文化財 センター費	7目 生涯学習 センター 費	1目 保健体育 総務費	2目 学校体育 振興費	3目 体育施設 費	4目 スポーツ 振興費		
	1 報 酬	357,253	8,682	63,604	33,427	38,106	12,672	200,762		11,385			2,121
2 給 料	550,377	550,377							57,780	57,780			
3 職 員 手 当 等	285,639	285,639							29,294	29,294			
4 共 済 費	219,091	193,303	6,842	5,034	3,255	1,940	8,717		21,522	19,794		326	1,402
5 災 害 補 償 費													
6 恩 給 及 び 退 職 年 金													
7 賃 金	4,357	942	486	878	2,051								
8 報 償 費	30,191	11,361	8,093	1,562	6,771	2,035	369		14,696	2,505	11,086		1,105
9 旅 費	42,824	6,696	14,252	4,592	11,950	1,717	3,617		14,301	3,457	5,154	300	5,390
費用弁償	3,472	448	1,728	375	800	73	48		770	15			755
普通旅費	22,216	2,891	5,472	3,172	7,182	664	2,835		8,955	2,891	2,451	300	3,313
特別旅費	17,136	3,357	7,052	1,045	3,968	980	734		4,576	551	2,703		1,322
10 交 際 費													
11 需 用 費	188,773	10,512	31,989	47,935	49,633	17,735	30,969		16,285	13,510	272	1,000	1,503
12 役 務 費	56,961	6,784	8,187	8,255	15,152	4,513	14,070		23,371	21,408	143	1,800	20
13 委 託 料	1,203,941	29,099	120,578	34,536	77,958	26,852	849,635	65,283	614,866	68,613	9,996	234,030	302,227
14 使用料及び賃借料	172,295	4,618	9,853	28,829	8,214	5,923	114,858		4,653	4,064	135	10	444
15 工事請負費	366,426		214,423	65,974	3,232	29,853		52,944	14,404			14,404	
16 原 材 料 費													
17 公有財産購入費	286,482		286,482										
18 備 品 購 入 費	105,271	154	683	93,200	9,780	1,124	200	130	4,146	439		3,657	50
19 負担金、補助及び交付金	222,255	68,202	107,490	136	43,469	90	2,868		280,893	88,897	51,200		140,796
20 扶 助 費									150	150			
21 貸 付 金													
22 補償、補填及び賠償金	62,096		62,013				83						
23 償還金、利子及び割引料													
24 投資及び出資金													
25 積 立 金													
26 寄 付 金													
27 公 課 費	147		8				123	16	20	20			
28 繰 出 金													
予 備 費													
計	4,154,379	1,176,369	934,983	324,358	269,571	104,577	1,226,164	118,357	1,107,766	309,931	77,986	257,648	462,201
財 国 庫 支 出 金	481,113	27,094	451,231				2,788		13,765	5,010	8,755		
源 地 方 債													
内 そ の 他	1,398,619	165,390	1,636	5,661	17,888	7,344	1,200,700		89,161	78,163	3,000	12	7,986
訳 一 般 財 源	2,274,647	983,885	482,116	318,697	251,683	97,233	22,676	118,357	1,004,840	226,758	66,231	257,636	454,215

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
10款 教育費		
1項 教育総務費		
1目 教育委員会費		
報 酬	教育委員	5人
負担金補助 及び交付金	全国都道府県教育委員会連合会負担金	1,005
2目 事務局費		
報 酬	非常勤職員	1.3人
	鳥取県教育審議会委員	30人
	鳥取県教育審議会委員(分科会)	38人
	鳥取県教育審議会委員(部会)	20人
	業務補助職員	2人
	農場管理補助職員	14人
	業務支援員	7人
給 料	教育長	1人
	一般職員	113人
	定数外職員	3人
負担金補助 及び交付金	電波利用料	5
積立金	鳥取県子ども未来基金積立金	10,000
3目 教職員人事費		
報 酬	健康管理担当医	31人
	産業医	3人
	非常勤職員	5人
	学校問題解決支援相談員	3人
負担金補助 及び交付金	公立学校共済組合職員事務費負担金	89
	公立学校共済組合役職員の基礎年金拠出金に係る負担金	5,408
	公立学校共済組合職員事務負担金	4
	全国免許管理システム運営協議会負担金	1,407
4目 教育連絡調整費		
報 酬	非常勤職員	2人
	理科支援員	25人
	理科支援員コーディネーター	1人
	幼稚園新規採用教員研修指導員	5人
	教科用図書選定審議会委員	13人
	子どもと親の相談員	13人

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
負担金補助 及び交付金	「未来を拓くスクラム教育」推進事業費補助金	6,000
	とっとり学力向上支援プロジェクト交付金	60,000
	スクールソーシャルワーカー配置事業費補助金	10,426
	不登校等児童生徒支援施設運営補助金	12,837
	全国学力・学習状況調査活用支援事業費補助金	10,800
	全国高等学校長協会負担金	192
	全国普通科高等学校長会負担金	70
	全国高等学校長協会家庭部会負担金	96
	全国高等学校長協会体育部会負担金	20
	全国商業高等学校長協会負担金	123
	全国工業高等学校長協会負担金	55
	全国農業高等学校長協会負担金	109
	全国水産高等学校長協会負担金	32
	全国総合学科高等学校長協会負担金	50
	全国英語科・国際科高等学校長協会負担金	5
	全国理数科高等学校長協会負担金	21
	全国福祉高等学校長協会負担金	7
	全国公立学校事務長会負担金	70
	全国定時制通信制高等学校長協会負担金	24
	全国通信制高等学校長会負担金	6
	氷温協会	60
	都道府県教育委員会等指導事務主管部課長会分担金	16
	県高等学校指導部連盟補助金	210
	中・四国高等学校就職対策協議会負担金	15
	(臨)第27回中国五県高等学校教頭・副校長研究協議会	100
	(臨)第13回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会	200
	県高等学校家庭クラブ連盟補助金	625
	県学校農業クラブ連盟補助金	751
	教職員海外研修受講料	300
	教員内地留学研修負担金	842
	新教育大学入学料、授業料	7,333
	14条大学入学料、授業料	2,454
教員研修受講料	109	
競技大会参加費	41	

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
5目 教育振興費		
報 酬	給食調理補助員	3人
	就労サポーター	3人
	外国人英語指導助手	20人
	外国人韓国語指導助手	2人
	外国人中国語指導助手	1人
負担金補助 及び交付金	鳥取県中学校文化連盟補助金	1,300
	全国・中国研究大会等開催費補助金	300
	市町村等が行う児童生徒通学支援に対する交付金	10,660
	教員内地留学研修負担金	280
	14条大学入学金、授業料	818
	全国盲学校長会負担金	20
	全国聾学校長会負担金	20
	全国特別支援学校肢体不自由教育校長会負担金	15
	全国特別支援学校病弱教育校長会負担金	15
	全国特別支援学校知的障がい教育校長会負担金	45
	全国特別支援学校長会負担金	56
	全国特別支援学校事務長会負担金	28
	全国高等学校長協会負担金	56
	全国公立学校事務長会負担金	14
	予備校研修受講料	582
	外国青年海外傷害保険料負担金	886
	外国青年日本語教育研修負担金	40
	外国青年渡航経費負担金	1,848
	自治体国際化協会負担金	1,656
	外国の大学等授業料	959
県高等学校定時制通信制教育振興会補助金	171	
県高等学校文化連盟補助金	25,993	
放送大学授業料・入学料	295	
6目 教育財産管理費		
報 酬	非常勤職員	2.6人
負担金補助 及び交付金	公共下水道受益者負担金	8,133
	安全運転管理者協議会負担金	42
	土地改良区負担金	811
	水利組合負担金	41
	営繕積算システム負担金	226

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
7目 育英奨学事業費		
報 酬	非常勤職員	4人
負担金補助 及び交付金	大学等進学資金助成金	3,540
	県学生寮運営事業補助金	30,989
貸 付 金	高等学校定時制通信制課程修学奨励金	1,008
償還金、利子 及び割引料	地域改善対策高等学校等進学奨励費補助金国庫 償還金	84,518
積 立 金	鳥取県授業料減免・奨学金基金積立金	780
繰 出 金	育英奨学事業特別会計繰出金	562,208
8目 教育センター費		
報 酬	非常勤職員	5人
	専門指導員(教育相談)	3人
負担金補助 及び交付金	都道府県指定都市教育センター所長協議会負担金	40
	全国教育研究所連盟負担金	25
	中国・四国地区教育研究所連盟負担金	10
	全国特別支援教育センター協議会負担金	5
2項 小学校費		
1目 小学校費		
報 酬	非常勤講師等	507人
給 料	教員	2,307人
	養護教員	140人
	栄養教諭	10人
	学校栄養職員	31人
	事務職員	153人
	定数外職員	31人
3項 中学校費		
1目 中学校費		
報 酬	非常勤講師等	166人
給 料	教員	1,307人
	養護教員	64人
	栄養教諭	7人
	学校栄養職員	11人
	事務職員	77人
	定数外職員	12人

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
4項 高等学校費		
1目 高等学校総務費		
報 酬	非常勤講師等	274人
給 料	教員	1,107人
	養護教員	31人
	実習助手	97人
	事務職員	88人
	司書	24人
	船員	18人
	教育相談員	3人
	学校技能主事	30人
	自動車整備士	1人
	定数外職員	37人
	2目 高等学校管理費	
負担金補助 及び交付金	全寮制農業高等学校寄宿舎運営事業補助金	850
	土地改良区負担金	222
	水利組合負担金	2
	ボイラー協会負担金	30
	食品衛生協会負担金	8
	全国水産高等学校実習船運営協会負担金	125
5項 特殊学校費		
2目 特別支援学校費		
報 酬	非常勤講師等	146人
給 料	教員	582人
	養護教員	14人
	栄養教諭	1人
	実習助手	14人
	寄宿舎指導員	14人
	学校栄養職員	2人
	事務職員	26人
	介助職員	7人
	学校技能主事	7人
	定数外職員	6人
負担金補助 及び交付金	白兔養護学校訪問学級(鳥取医療センター内)整備 事業負担金	32,424

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
6項 社会教育費		
1目 社会教育総務費		
報 酬	社会教育委員	15人
	家庭教育相談員	2人
	非常勤職員	3人
給 与	一般職員	134人
	定数外職員	2人
負担金補助 及び交付金	県社会教育委員連絡協議会負担金	15
	全国社会教育委員連合会負担金	70
	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 (家庭教育支援基盤形成事業)	5,017
	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 (学校支援地域本部事業)	11,370
	地域力(鳥取力)を高める公民館活性化モデル事業 補助金	600
	県放課後子どもプラン推進事業費補助金	30,657
	町村教育委員会支援事業給与負担補助金	9,446
	県青少年団体補助金	2,600
	県社会教育関係団体(成人)補助金	2,550
	県社会教育協議会補助金	200
	日韓家庭・地域教育交流事業補助金	300
	中国・四国地区シニア・レンジャースカウトキャンプ大 会開催費補助金	140
	全国地域婦人団体連絡協議会中国ブロック会議開 催費補助金	90
	生涯学習活動支援事業補助金	500
	鳥取県人権教育推進協議会事業補助金	4,627
	全国文化・文化財行政主管課長協議会分担金	20
2目 文化財保護費		
報 酬	文化財保護審議会委員	20人
	非常勤職員	8人
	発掘作業員	14人
	整理作業員	23人
	調査研究補助員	1人
	維持管理・薫蒸作業員	6人
	まつり・古代体験等補助員	8人

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
負担金補助 及び交付金	妻木晩田遺跡物産振興会助成金	701
	妻木晩田遺跡活用実行委員会負担金	200
	鳥取県ミュージアム・ネットワーク負担金	2
	青谷上寺地遺跡展示館管理運営費補助金	6,057
	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金	13,659
	指定文化財保存整備費等補助金	69,373
	地域民俗芸能再生事業費補助金	1,392
	池田家墓所整備活用促進事業補助金	15,206
	中国・四国ブロック民俗芸能大会負担金	900
3目 図書館費		
報 酬	図書館協議会委員	8人
	非常勤職員	15人
負担金補助 及び交付金	日本図書館協議会負担金	50
	全国公共図書館協議会負担金	26
	県図書館協会負担金	60
4目 博物館費		
報 酬	博物館協議会委員	15人
	警備員	2人
	非常勤職員	10人
	非常勤職員(監視員他)	77人
負担金補助 及び交付金	日本博物館協会負担金	45
	全国科学博物館協議会負担金	20
	関西博物館連盟負担金	8
	全国美術館会議負担金	30
	日本博物館協会中国支部負担金	7
	鳥取県ミュージアム・ネットワーク負担金	2
	企画展開催費負担金	41,500
	博物館振興会助成金	1,857
5目 青少年社会教育施設費		
報 酬	技術指導支援員	2人
	ボイラー技士	2人
	非常勤職員	2人
	船上山少年自然の家草刈人夫	10人
負担金補助 及び交付金	中国四国地区青少年教育施設連絡協議会負担金	20
	全国青少年教育施設協議会負担金	70

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
6目 埋蔵文化財センター費		
報 酬	非常勤職員	7人
	発掘調査員	2人
	発掘作業員	205人
	整理作業員	23人
負担金補助 及び交付金	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会負担金	30
	鳥取県ミュージアム・ネットワーク負担金	2
	資格取得等受講料	154
	青谷調査室施設維持管理経費負担金	2,682
7項 保健体育費		
1目 保健体育総務費		
給 料	一般職員	14人
負担金補助 及び交付金	心や性に関する専門家派遣事業補助金	1,080
	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金	2,010
	全国都道府県体育・保健・給食主管課長協議会負担金	18
	日本スポーツ振興センター災害給付負担金	26,139
	日本スポーツ振興センター災害共済給付金	59,000
	県学校保健会補助金	350
	第56回中国地区学校保健研究協議大会開催費補助金	300
2目 学校体育振興費		
負担金補助 及び交付金	運動部活動外部指導者活用事業補助金	2,541
	鳥取県学校関係体育大会補助金	48,659
3目 体育施設費		
報 酬	非常勤職員	1人
4目 スポーツ振興費		
報 酬	スポーツ指導員	4人
負担金補助 及び交付金	(財)鳥取県体育協会運営費補助金	97,696
	倉吉自転車競技場管理運営費補助金	4,649
	競技力向上対策事業費補助金	248
	スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業補助金	20,172
	日韓スポーツ交流事業費補助金	1,404
	都道府県対抗駅伝強化費補助金	1,600
	鳥取県・江原道生涯スポーツ交流(受入)事業補助金	600
	全国スポーツ・レクリエーション祭派遣事業費補助金	8,712
	県民スポーツ・レクリエーション祭開催費負担金	5,525
	鳥取県体育指導委員協議会補助金	190

継続費についての前前年度以降の支出額、前年度末までの支出額又は支出額の調書見込み及び当該年度以降の支出額並びに事業の進行状況等に関する調書

当初

款	項	事業名	年度	年割額 千円	全体計画							前年度末までの支出額 (見込)額 千円	当該年度支出予定額 千円	当該年度末までの支出予定額 千円	翌年度以降支出予定額 千円	継続費の総額に対する選渉率 %	
					左の財源内訳				特定財源								一般財源
					国庫支出金 千円	地方債 千円	その他 千円	一般財源 千円	国庫支出金 千円	地方債 千円	その他 千円						
10 教育費	1 教育総務費	鳥取東高等学校管理教室棟等耐震改修事業費	23	155,668		79,000	76,668				155,668	155,668			4.4		
			24	3,364,527		3,055,000		309,527						3,364,527		95.6	
			計	3,520,195		3,134,000	76,668	309,527				155,668	155,668	3,364,527		100.0	
		米子東高等学校体育館改築事業費	20	188,353		115,000	50,000			23,353				62,730		9.0	
			21	467,227		386,000				81,227				422,560		60.9	
			22	35,423						35,423				205,713		29.7	
			23	3,047						3,047			3,047	3,047		0.4	
		計	694,050		501,000	50,000			143,050			3,047	694,050		100.0		
		4 高等学校費	米子工業高等学校改築事業費	23	197,416					197,416			197,416	197,416			48.0
				24	213,395					213,395					213,395		52.0
計	410,811							410,811				197,416	197,416	213,395		100.0	
20	293							293									
21	2,089,859			210,260	1,613,000		266,599		976,668				976,668		23.3		
22	2,097,087			150,417	500,000		1,446,670						3,210,571		76.6		
計	4,190,554	360,677	2,113,000		1,716,877					3,315	4,190,554		0.1				
22	230,716					230,716					230,716			46.2			
23	268,946				200,000		68,946			268,946	268,946			53.8			
計	499,662				430,716		68,946			499,662	499,662			100.0			
		5 特別支援学校教室不足解消事業															

継続費についての前前年度以降の支出額、前年度末までの支出額又は支出額の
見込み及び当該年度以降の支出額並びに事業の進行状況等に関する調書

変更

款	項	事業名	全体計画										継続費の 総額に對 する進捗 率			
			年度	年割額	左の財源内訳				前前年度 末までの 支出額	前年度末ま での支出 (見込)額	当該年度 支出予定 額	当該年度末 までの支出 予定額		翌年度以降 支出予定額		
					国庫支出金	特定財源 地方債	その他	一般財源								
			22	120,800	千円	57,000	48,201	15,599	千円	120,800	千円	120,800	千円	120,800	千円	4.4
			変更前の額	2,659,593		2,409,000		250,593					2,659,593	2,659,593		95.6
			変更額			△ 821,000	1,071,593	△ 250,593								
			計	2,659,593		1,588,000	1,071,593						2,659,593	2,659,593		95.6
			変更前の額	2,780,393		2,466,000	48,201	266,192		120,800			2,659,593	2,780,393		100.0
			変更額			△ 821,000	1,071,593	△ 250,593								
			計	2,780,393		1,645,000	1,119,794	15,599		120,800			2,659,593	2,780,393		100.0
10 教育費	1 教育総務費		22	30,674			30,674			30,674			30,674	30,674		32.9
			変更前の額	62,517				62,517					62,517	62,517		
			変更額				62,517	△ 62,517								
			計	62,517			62,517						62,517	62,517		
			変更前の額	93,191			30,674	62,517		30,674			62,517	93,191		100.0
			変更額				62,517	△ 62,517								
			計	93,191			93,191			30,674			62,517	93,191		100.0
			計	93,191			93,191			30,674			62,517	93,191		100.0

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

当該年度提出に係る分

事 項	限 度 額 千円	前年度末までの支出(見込)額 千円		当該年度以降の支出予定額 千円	左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額		特 定 財 源			一 般 財 源 千円
					国庫支出金	地方債	その他	
平成23年度 教職員健康管理事業費	27,700		27,700	27,700				27,700
平成23年度 県立学校教育用パソコン 貸借料	427,375		427,375	427,375				427,375
平成23年度 県立学校教室用プロジェクト ウェア賃借料	212,703		212,703	212,703				212,703
平成23年度 県立学校校内LAN運営 支援業務委託	86,621		86,621	86,621				86,621
平成23年度 学費支援システム賃借 料	172,106		172,106	172,106				172,106
平成23年度 県立学校校庭芝生化推 進事業費	14,276		14,276	14,276				14,276
平成23年度 外国語教育改善指導費	28,608		28,608	28,608			149	28,459
平成23年度 図書館利用者用インター ネット端末賃借料	1,846		1,846	1,846				1,846
平成23年度 図書館映像録音資料視 聴機器賃借料	84		84	84				84
平成23年度 養木畷田遺跡休憩舎等 清掃業務委託	534		534	534				534

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

当該年度提出に係る分

事 項	限 度 額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳				
		期 間	金 額	期 間	金 額	特 定 財 源			一 般 財 源	
						国庫支出金	地方債	その他		
平成23年度 糞糞機材等保管庫賃借 料	1,554			平成24年度	1,554				1,554	
平成23年度 博物館企画展開催費	90,000			平成24年度	90,000					90,000
平成23年度 博物館設備保守点検業 務委託	8,842			平成24年度から 平成25年度まで	8,842					8,842

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調査

過年度繰決済に係る分

事 項	限 度 額 千円	前年度末までの支出(見込)額 千円		当該年度以降の支出予定額 千円		左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額	期 間	金 額	特 定 財 源			一般財源 千円
						国庫支出金 千円	地方債 千円	その他 千円	
平成19年度 県立高等学校教育用パ ソコン等賃借料	355,299	平成20年度から 平成22年度まで	237,568	平成23年度から 平成24年度まで	49,031				49,031
平成19年度 県立高等学校教育用パ ソコン賃借料	191,340	平成20年度から 平成22年度まで	24,397	平成23年度から 平成25年度まで	26,204				26,204
平成19年度 県立高等学校教室用パ ソコン賃借料	232,901	平成20年度から 平成22年度まで	29,696	平成23年度から 平成25年度まで	31,896				31,896
平成19年度 県立高等学校教室用ブ ロジェクツ分賃借料	1,040,326	平成20年度から 平成22年度まで	307,169	平成23年度から 平成26年度まで	409,559				409,559
平成19年度 県立高等学校サ一バ賃 借料	346,740	平成20年度から 平成22年度まで	106,353	平成23年度から 平成24年度まで	70,909				70,909
平成19年度 県立高等学校サ一バ運 営委託	63,965	平成20年度から 平成22年度まで	36,379	平成23年度から 平成24年度まで	25,586				25,586
平成19年度 県立高等学校図書管理 システム賃借料	104,847	平成20年度から 平成22年度まで	26,636	平成23年度から 平成26年度まで	35,967				35,967
平成19年度 県立特別支援学校教育 用パソコン賃借料	59,210	平成20年度から 平成22年度まで	7,550	平成23年度から 平成25年度まで	8,109				8,109
平成19年度 県立特別支援学校教室 用パソコン賃借料	96,300	平成20年度から 平成22年度まで	12,279	平成23年度から 平成25年度まで	13,189				13,189
平成19年度 点字等教材提示装置賃 借料	21,215	平成20年度から 平成22年度まで	11,532	平成23年度から 平成24年度まで	8,140				8,140

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事項	限度額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左の財源内訳			
		期間	金額	期間	金額	特定財源			一般財源
						国庫支出金	地方債	その他	
平成19年度 県立特別支援学校教室 用プロジェクト貸借料	148,036	平成20年度から 平成22年度まで	43,710	平成23年度から 平成26年度まで	58,280				58,280
平成19年度 県立特別支援学校サ ーバ貸借料	115,580	平成20年度から 平成22年度まで	35,334	平成23年度から 平成24年度まで	23,556				23,556
平成19年度 県立特別支援学校サ ーバ運営委託	21,460	平成20年度から 平成22年度まで	12,750	平成23年度から 平成24年度まで	8,584				8,584
平成20年度 県立高等学校教養用情 報システム等貸借料	75,576	平成21年度から 平成22年度まで	13,808	平成23年度から 平成27年度まで	13,775				13,775
平成20年度 県立高等学校教育用パ ソコン貸借料	12,765	平成21年度から 平成22年度まで	1,447	平成23年度から 平成25年度まで	1,749				1,749
平成20年度 学事支援システム賃借 料	79,415	平成21年度から 平成22年度まで	18,582	平成23年度から 平成26年度まで	47,002				47,002
平成20年度 県立学校機械警備委託	23,815	平成21年度から 平成22年度まで	8,848	平成23年度から 平成25年度まで	13,094				13,094
平成21年度 県立学校教職員用パソ コン等賃借料	449,720	平成22年度	112,332	平成23年度から 平成26年度まで	304,521				304,521
平成21年度 県立学校電気工作物保 安管理等業務委託	38,541	平成22年度	10,518	平成23年度から 平成24年度まで	20,594				20,594
平成21年度 県立学校消防用設備等 保守点検業務委託	54,680	平成22年度	10,815	平成23年度から 平成24年度まで	21,168				21,168

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度繰決済に係る分

事項	限度額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額			左の財源内訳				
		期間	金額	期間	金額	特定財源			一般財源		
						国庫支出金	地方債	その他			
平成22年度 県立学校校庭芝生化粧 進事業費	11,803			平成23年度から 平成24年度まで	11,803					11,803	
平成22年度 県立学校教室用パソコン 等買付料	485,957			平成23年度から 平成29年度まで	485,957					485,957	
平成22年度 倉吉農業高等学校寄宿 舎給食業務委託	31,402			平成23年度から 平成25年度まで	25,186					25,186	
平成22年度 教育の情報化推進事業 費	28,345			平成23年度から 平成28年度まで	28,345					28,345	
平成22年度 県立米子工業高等学校 自家用電気工作物保安 管理業務委託	1,248			平成23年度から 平成24年度まで	1,248					1,248	
平成22年度 県立米子工業高等学校 消防用設備保守点検委 託	1,152			平成23年度から 平成24年度まで	1,152					1,152	
平成22年度 県立特別支援学校工し べーター保守点検業務 委託	36,423			平成23年度から 平成25年度まで	36,423					36,423	
平成19年度 特別支援学校通学バス 運行業務委託・バス賃借 料	300,225	平成20年度から 平成22年度まで	256,506	平成23年度から 平成26年度まで	43,719					43,719	
平成21年度 鳥取養護学校通学バス 運行管理業務委託	43,974	平成22年度	12,056	平成23年度から 平成24年度まで	31,918					31,918	
平成22年度 県立特別支援学校通学 バス運行管理業務委託	309,672			平成23年度から 平成25年度まで	309,672					309,672	

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事 項	限 度 額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額			左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額	期 間	金 額	特 定 財 源			一般財源	
						国庫支出金	地方債	その他		
平成19年度 鳥取県教育情報ネット ワーク機器賃借料	39,729	平成20年度から 平成22年度まで	26,290	平成23年度から 平成24年度まで	10,955					10,955
平成20年度 教育情報ネットワーク機 器等賃借料	12,336	平成21年度から 平成22年度まで	4,458	平成23年度から 平成25年度まで	3,984					3,984
平成20年度 教育センター大研修室音 響機器等賃借料	9,470	平成21年度から 平成22年度まで	3,755	平成23年度から 平成25年度まで	5,633					5,633
平成21年度 教育情報ネットワーク機 器等賃借料	14,635	平成22年度	2,988	平成23年度から 平成26年度まで	9,464					9,464
平成21年度 教育情報研修システム 機器賃借料	104,260	平成22年度	9,101	平成23年度から 平成27年度まで	51,569					51,569
平成22年度 研修講座登録システム 賃借料	10,868			平成23年度から 平成27年度まで	4,402					4,402
平成20年度 鳥取県立生涯学習セン ター管理委託	311,285	平成21年度から 平成22年度まで	124,514	平成23年度から 平成25年度まで	186,771					186,771
平成22年度 とっとり県民カレッジ委託 事業費	34,218			平成23年度から 平成25年度まで	34,218				2,700	31,518
平成22年度 青少年社会教育施設警 備等業務委託	40,527			平成23年度から 平成25年度まで	40,527					40,527
平成20年度 図書館大研修室視聴覚 機器賃借料	8,896	平成21年度から 平成22年度まで	2,432	平成23年度から 平成25年度まで	3,141					3,141